

付属資料 1
調査対象者属性

調査対象者属性

(1) 本人、配偶者の年齢

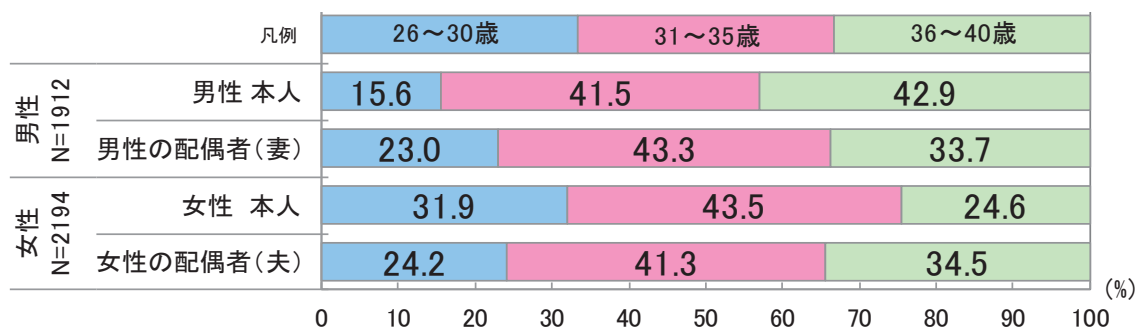
男性は36歳以上が42.9%と最も多い。女性は31～35歳が43.5%で最も多い割合だった。男性の配偶者（妻）は年下が多く、女性の配偶者（夫）は年上が多い傾向がある。（注参照）この調査の対象者も、夫のほうが妻よりも年齢が高い割合は男性では47.3%（配偶者が年下）、女性では48.6%（配偶者が年上）であった。（参考参照）

今回の調査は、本人も配偶者もミレニアル世代26～40歳の人限定していたため、26～30歳の男性で配偶者（妻）が25歳以下の人、36～40歳の女性で配偶者（夫）が41歳以上の人は、対象外として除外された。よって、男性は26～30歳の割合が少なく、女性は36～40歳の割合が少なくなったと考えられる。

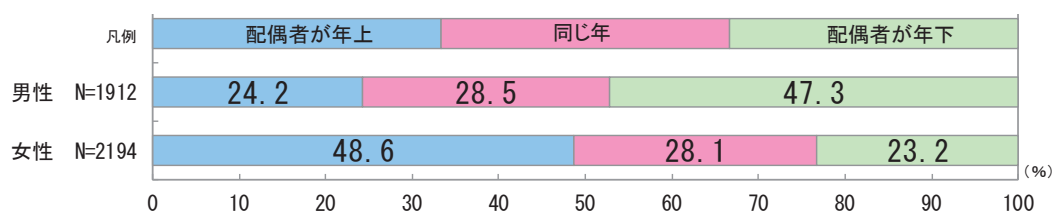
図表 属性1 本人の年齢/配偶者の年齢

S10 あなたの年齢をお聞きます。

S11 あなたの配偶者の年齢をお聞きます。



(参考)図表 属性2 本人の年齢と配偶者の年齢の関係

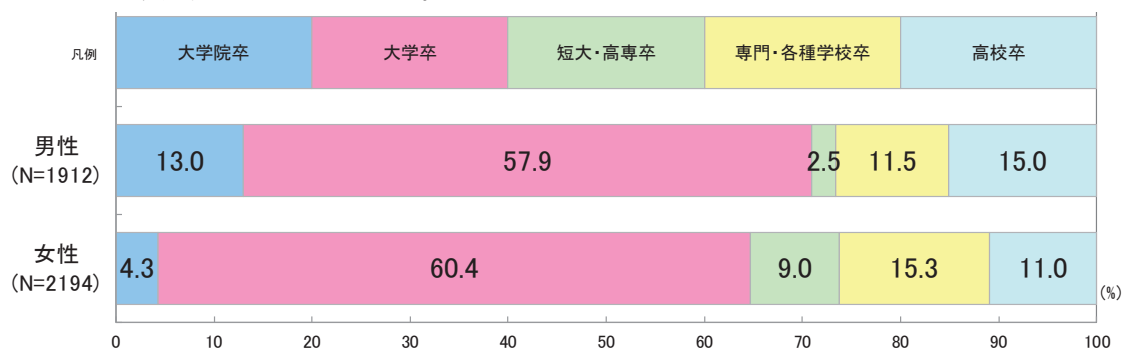


注：2020年の厚生労働省 人口動態統計「全婚姻-初婚別にみた年次別夫妻の平均婚姻年齢及び夫妻の年齢差」によると、夫妻の平均年齢差は1.5歳。また2009年の人口動態統計年報によると初婚夫婦のうち、夫婦同年齢の割合が19.9%、夫が年上の割合は56.3%、妻が年上の割合は23.7%で、1970年の統計開始からの推移を見ると、「夫婦同年齢」の割合は増加傾向、「夫が年上」の割合は減少傾向にある。

(2) 最終学歴

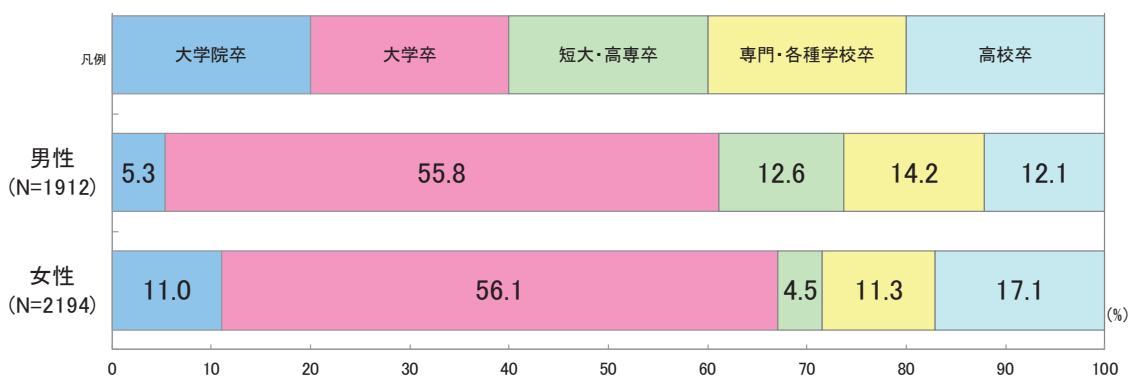
図表 属性 3 本人の最終学歴

S1 あなたの最終学歴をお選びください。



図表 属性 4 配偶者の最終学歴

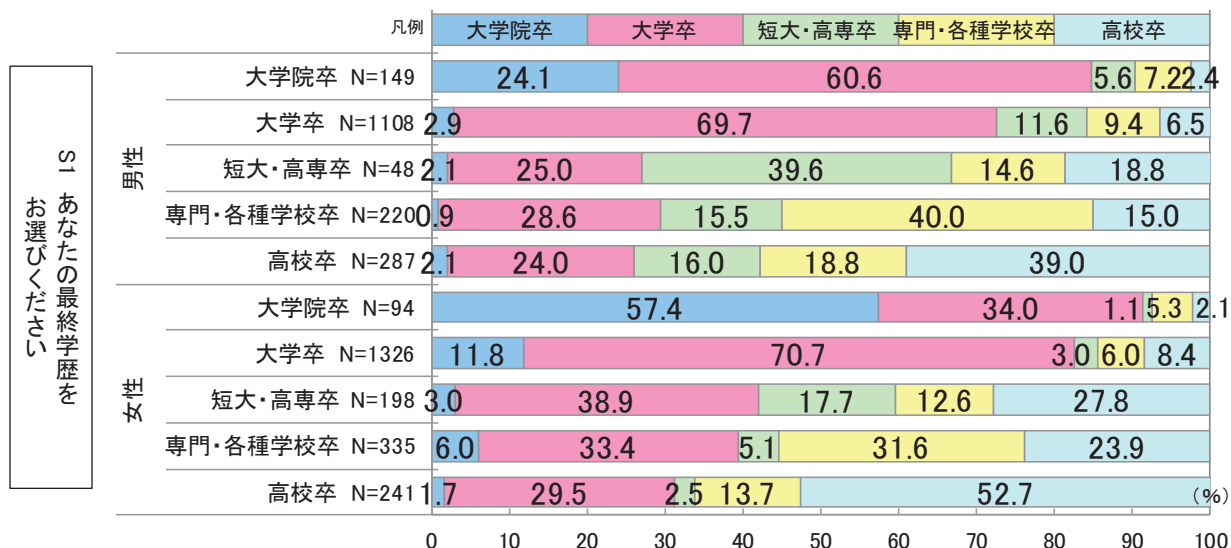
S7 配偶者の最終学歴をお選びください。



本人の学歴別に配偶者の学歴をみると、男性は大学院卒以外は、自分の最終学歴と配偶者の最終学歴が同じ人の割合が最も高い。女性は自分の最終学歴が短大・高専卒、専門・各種学校の場合でも配偶者は大学卒の割合が最も高かった。

図表 属性 5 本人の最終学歴別 配偶者の最終学歴

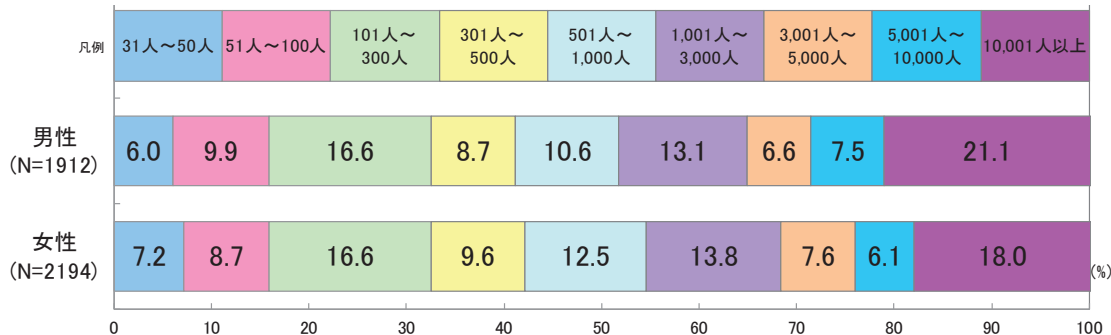
S7 配偶者の最終学歴をお選びください。



(3) 本人と配偶者の勤務先の企業規模

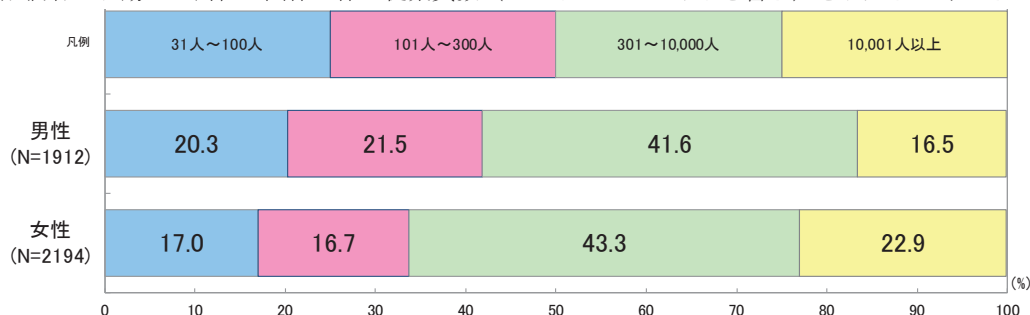
図表 属性 6 本人の勤務先の企業規模

S3 あなたが現在お勤めの会社・団体全体の従業員数（パート・アルバイトを含む）をお知らせください。



図表 属性 7 配偶者の勤務先の企業規模

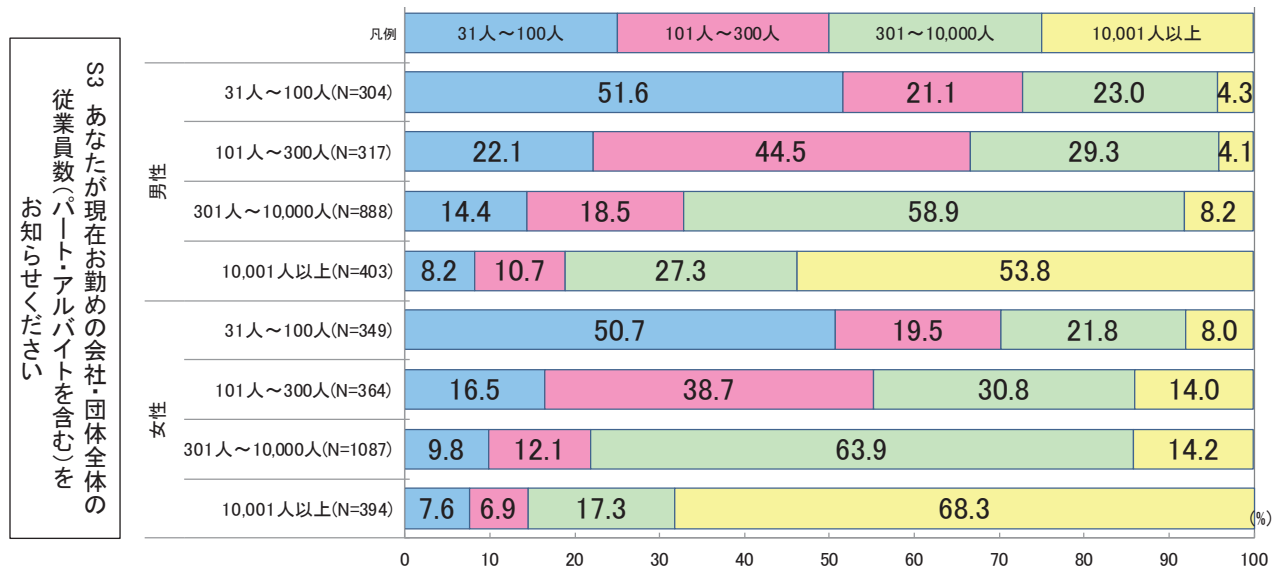
S6 配偶者がお勤めの会社・団体全体の従業員数（パート・アルバイトを含む）をお知らせください。



本人勤務先企業規模別 配偶者の勤務先企業規模：本人の勤務先の企業規模と配偶者の勤務先の企業規模が同等である人の割合が高い。

図表 属性 8 本人の勤務先企業規模別 配偶者の勤務先企業規模

S6 配偶者がお勤めの会社・団体全体の従業員数（パート・アルバイトを含む）をお知らせください。



(4) 業種

男性で「製造業」の割合が、女性では「医療」の割合が高い。

図表 属性9 業種

F3 あなたが現在お勤めの会社・団体の業種をお知らせください。

	男性(N=1912)	女性(N=2194) (%)
農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業	0.3	0.1
建設業	4.9	1.9
製造業	25.4	14.5
電気・ガス・熱供給・水道業	1.6	0.5
情報通信業	4.7	3.7
運輸業、郵便業	7.1	2.8
卸売業、小売業	7.3	8.0
金融業、保険業	4.7	8.5
不動産業、物品賃貸業	1.8	1.6
学術研究、専門・技術サービス業	1.7	0.5
宿泊業、飲食サービス業	1.2	1.7
生活関連サービス業、娯楽業	1.3	1.7
教育、学習支援業	4.6	9.5
医療	10.1	22.2
福祉	4.2	7.6
複合サービス業(協同組合、郵便局)	0.7	0.7
その他のサービス業	4.6	5.7
公務(他に分類されるものを除く)	12.6	7.2
その他	1.2	1.4

(5) 職種

男性では「営業」「設計・品質管理・生産技術・デザイン等」「介護・保健医療、生活サービス」が、女性では「介護・保健医療、生活衛生サービス」「営業等の事務」「総務・人事・CSR・法務・経営企画」「販売・接客サービス・カスタマーサポート」の割合が多い傾向にある。

図表 属性 10 職種

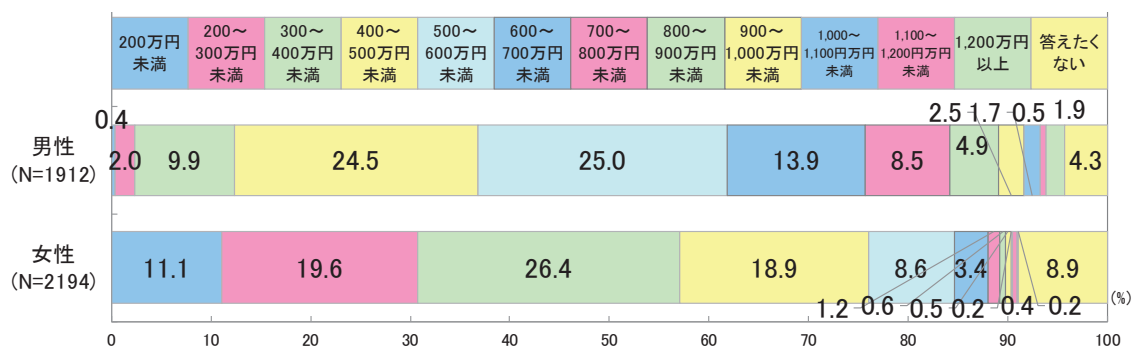
F4 あなたの現在の仕事の種類をお選びください。

	男性(N=1912)	女性(N=2194) (%)
総務・人事・CSR・法務・経営企画	9.9	10.7
経理・財務	3.7	5.1
企画・広報・編集・調査	4.7	3.4
営業	16.8	7.5
営業等の事務	2.1	11.0
販売・接客サービス・カスタマーサポート	4.5	10.7
情報システム	5.5	2.3
設計・品質管理・生産技術・研究開発・デザイン等	13.7	4.4
製造・生産現場の作業	8.2	3.6
建設・土木作業	2.5	0.1
輸送・運転業務	5.6	1.0
介護・保健医療、生活衛生サービス	11.9	24.6
その他	10.8	15.6

(6) 個人年収

図表 属性 11 個人年収

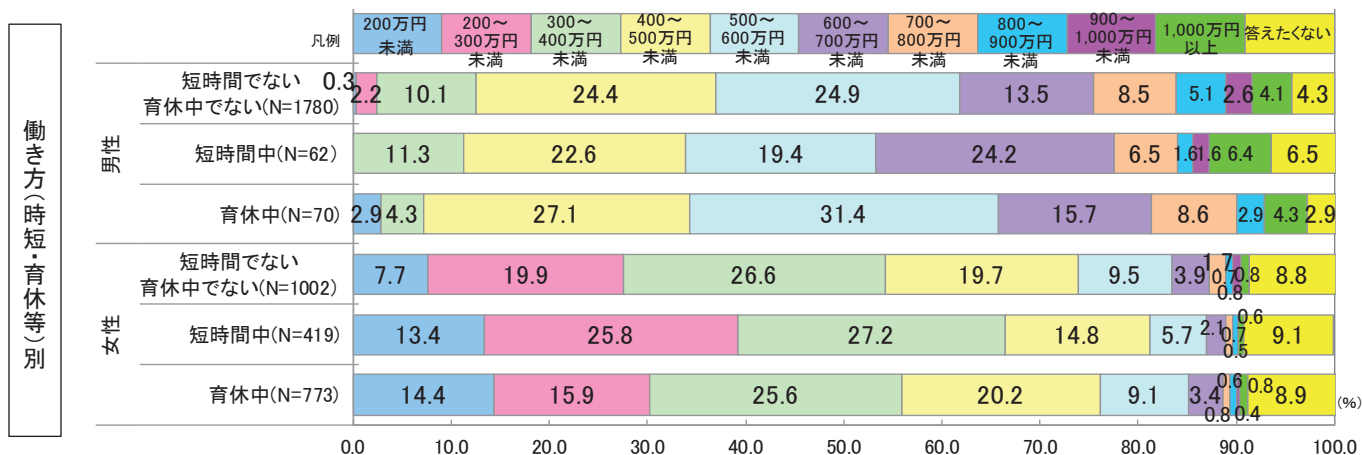
F9 あなたの個人の最近1年間のおよその税込年収について、あてはまるもの1つをお選びください。



短時間勤務中、育児休業中の人とそうでない人を分けて見た。短時間勤務でも育休中でもない正社員女性で、最も割合が多いのは300～400万円未満であった。同様の男性のボリュームゾーンは500～600万円未満である。男性は500万円以上の人の割合が58.7%であるのに対して、女性はその半分以下の17.3%であった。

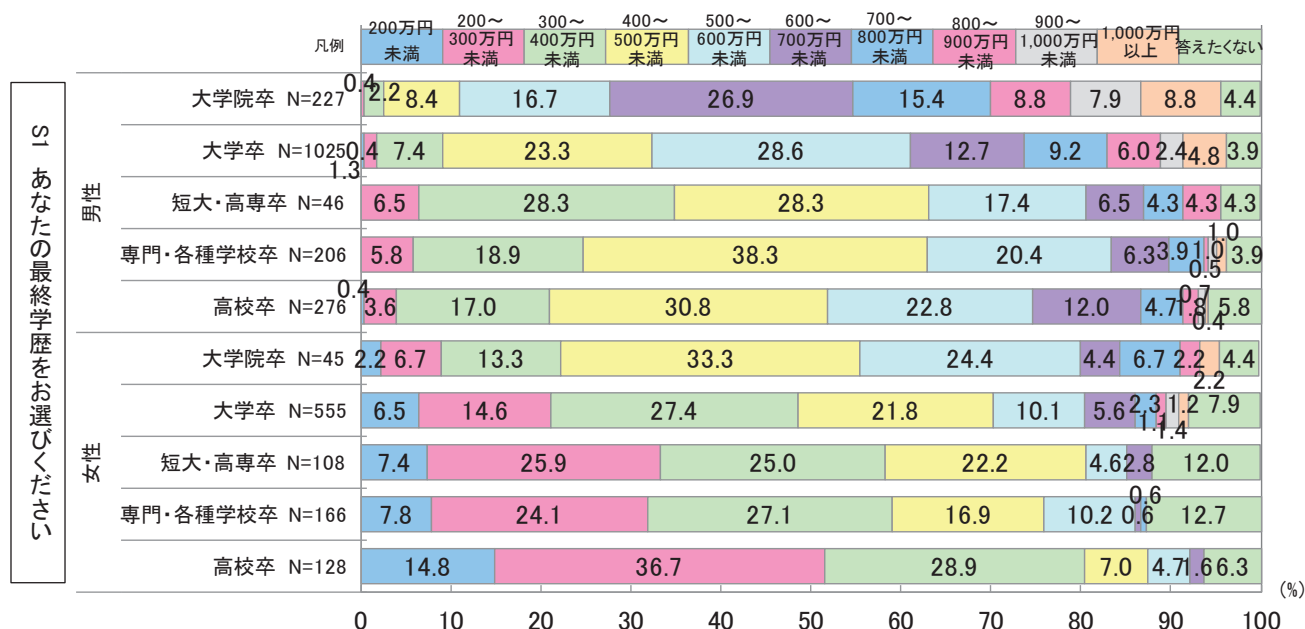
図表 属性 12 働き方別 個人年収

F9 あなた個人の最近1年間のおよその税込年収について、あてはまるもの1つをお選びください。



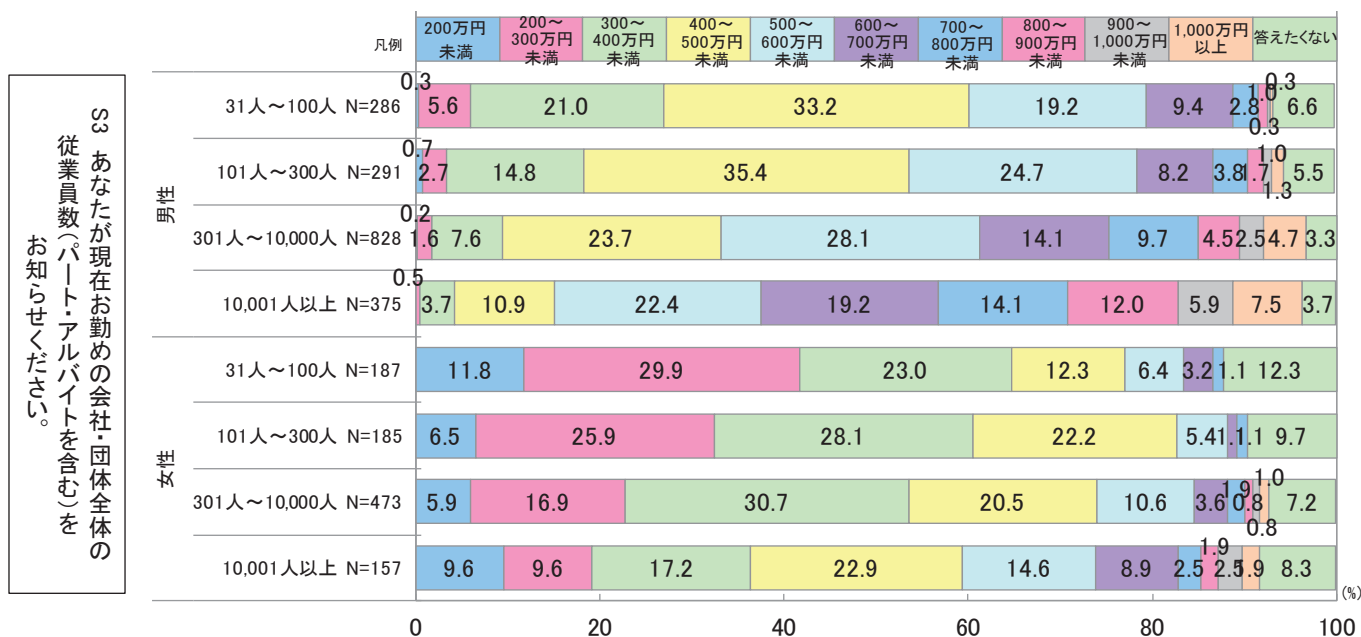
図表 属性 13 学歴別 個人年収(短時間勤務者、育児休業中の人を除く)

F9 あなた個人の最近1年間のおよその税込年収について、あてはまるもの1つをお選びください。



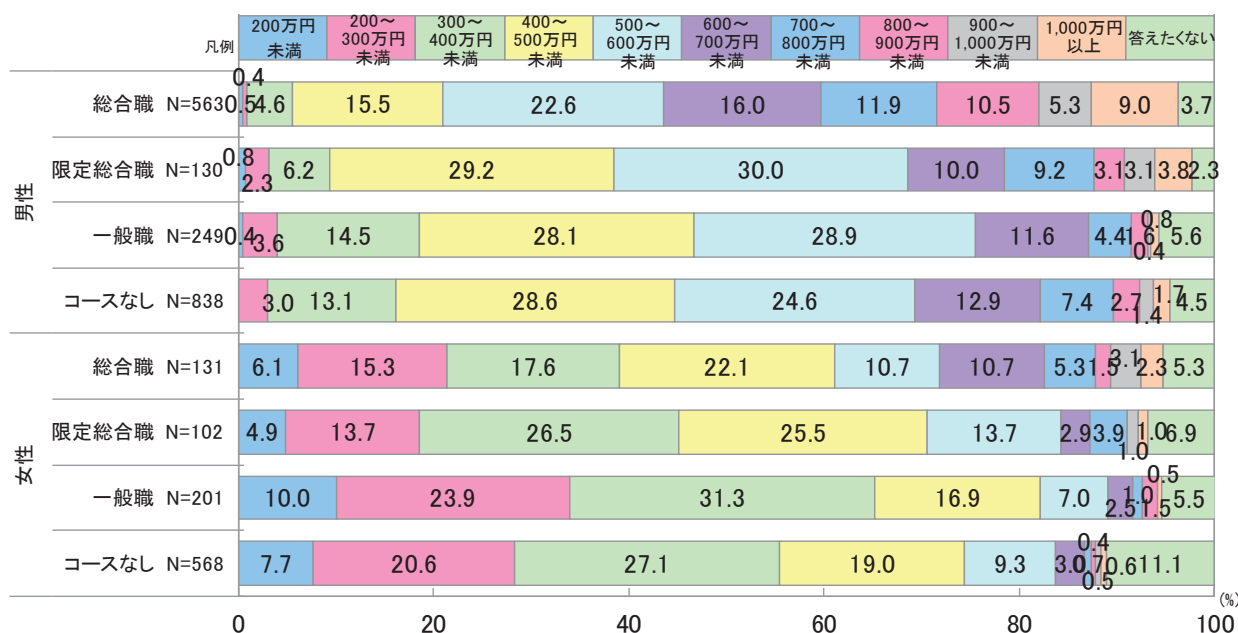
図表 属性 14 企業規模別 個人年収(短時間勤務者、育児休業中の人は除く)

F9 あなた個人の最近1年間のおよその税込年収について、あてはまるもの1つをお選びください。



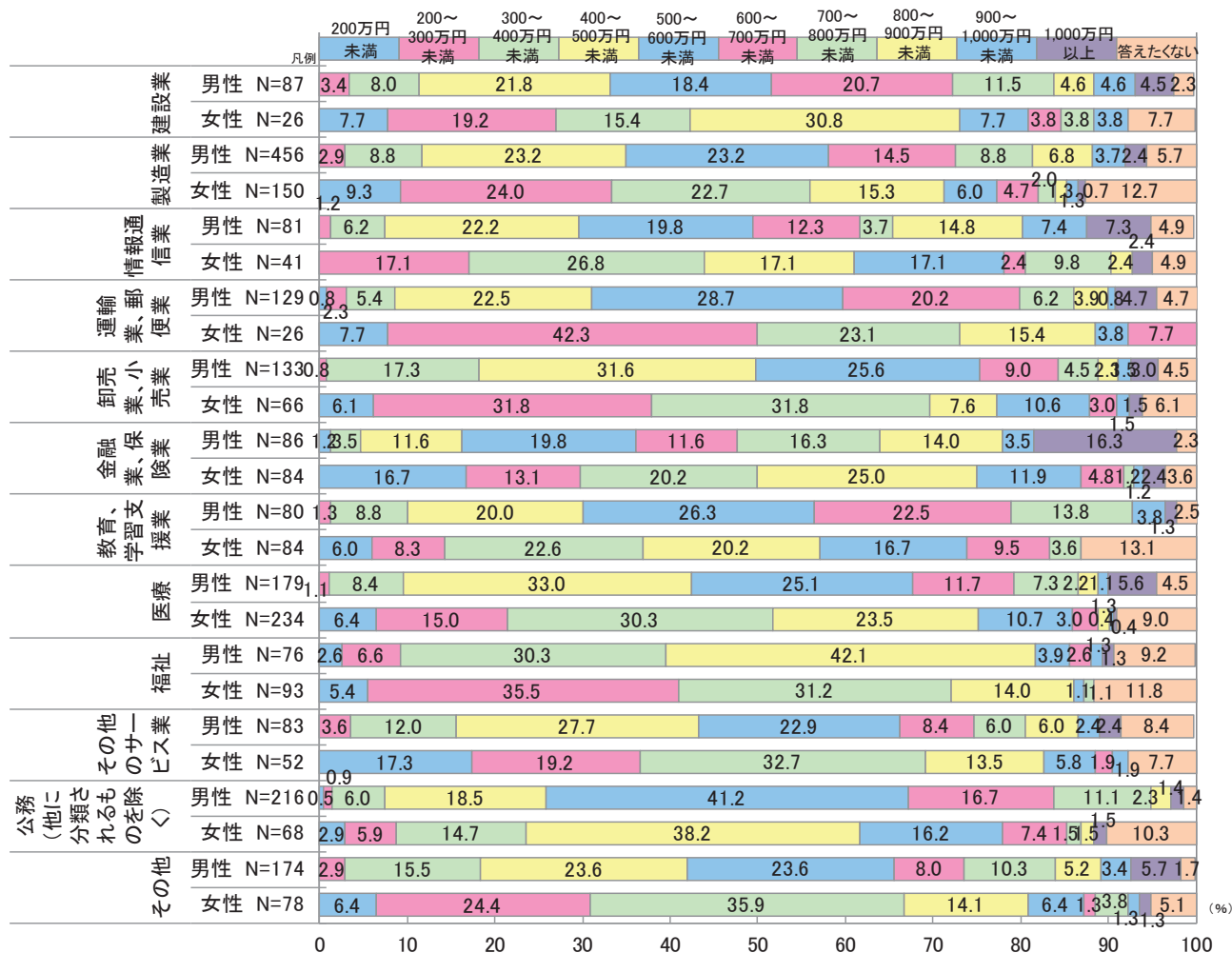
図表 属性 15 コース別 個人年収(短時間勤務者、育児休業中の人は除く)

F9 あなた個人の最近1年間のおよその税込年収について、あてはまるもの1つをお選びください。



図表 属性 16 業種別 個人年収(短時間勤務者、育児休業中の人は除く)

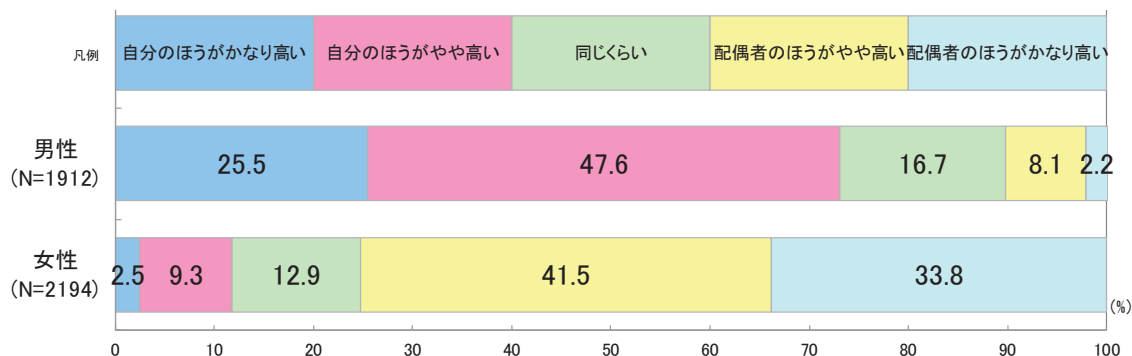
F9 あなた個人の最近1年間のおよその税込年収について、あてはまるもの1つをお選びください。



(7) 配偶者との年収比較

図表 属性 17 配偶者との年収比較

F10 あなたの年収と配偶者の年収はどちらが高いですか。

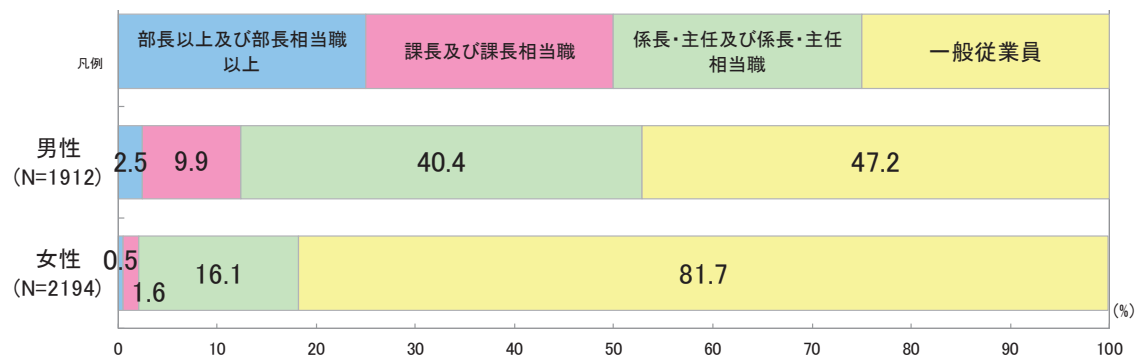


(8) 職位

女性は 8 割が一般従業員である一方、男性は、何らかの役職についている人が半数以上。

図表 属性 18 職位

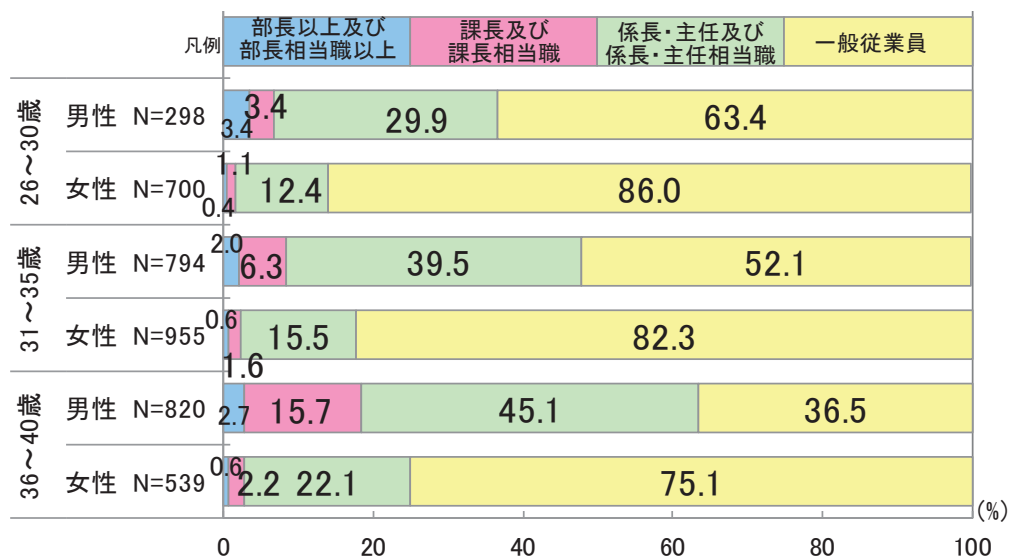
F6 あなたの現在の職位は何ですか。



年齢別で職位を確かめると、26～30 歳でも男性の方が「係長・主任及び係長・主任相当職」以上が多い。26～30 歳の一般従業員の割合は男性が 63.4%に対して女性は 86.0%と 20 ポイント以上差がある。

図表 属性 19 年齢別 職位

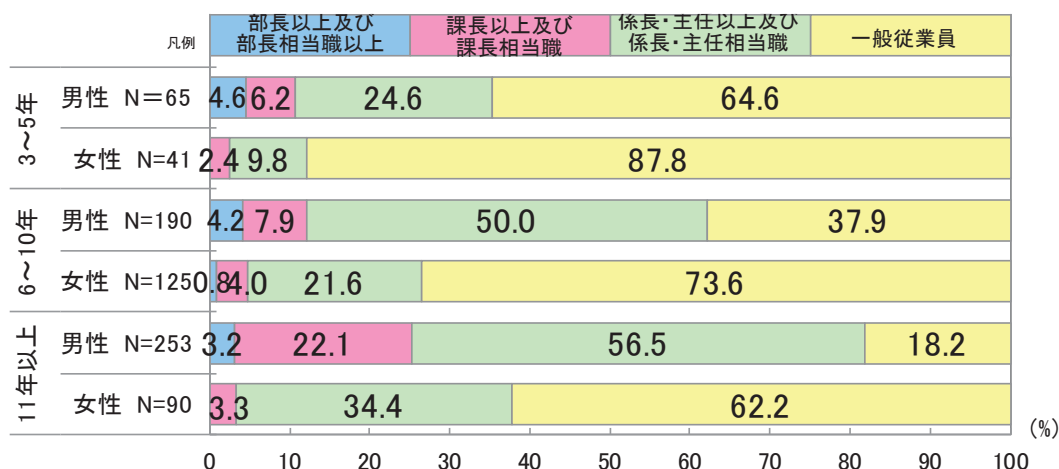
F6 あなたの現在の職位は何ですか。



総合職に限定して勤続年数別（無職期間のある人は除く）に職位を確かめた。

図表 属性 20 【総合職・無職期間のない人】勤続年数別 職位

F6 あなたの現在の職位は何ですか



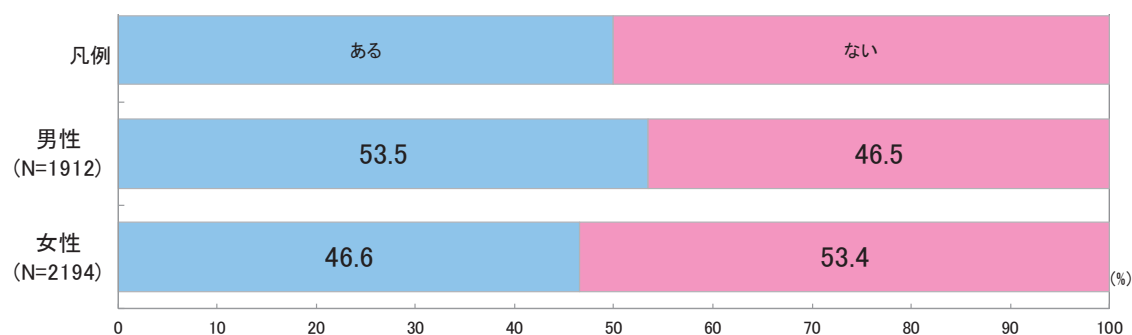
※サンプル数 50 以下は参考値

(9) 勤務先のコース別雇用管理制度の有無

■コース別管理がある割合は男女とも約半数

図表 属性 21 コース別雇用管理制度の有無

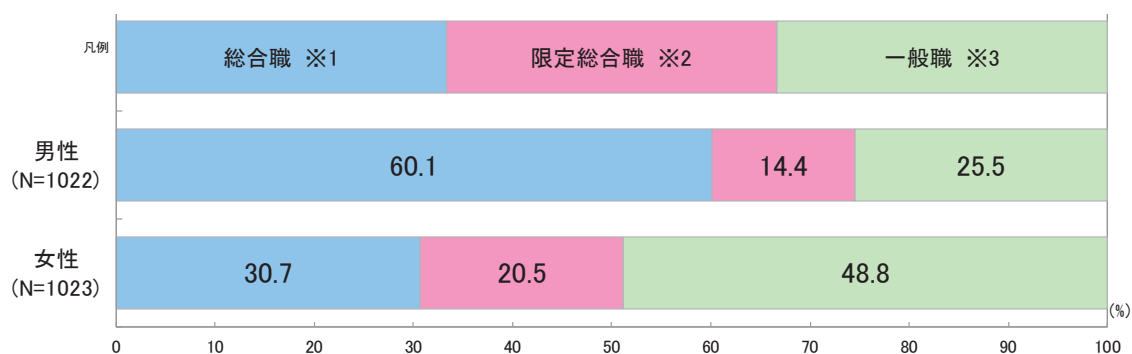
F5s1 現在お勤めの会社・団体にはコース別雇用管理（総合職、一般職などの区分）、あるいはこれに類似した制度はありますか。(SA)



■ 女性は「一般職」が約半数（F5s1 でコース別あり、と回答した人のみ）

図表 属性 22 コース

F5s2 現在、あなたのコースはどれですか。（F5s1 で、「コースがある」と回答した人のみ）



アンケート調査においては、各コース名の後に以下の説明をカッコ書きで記載し、質問した。

※1：基幹的な業務や総合的な判断を行う業務に属し、勤務地の制限がない

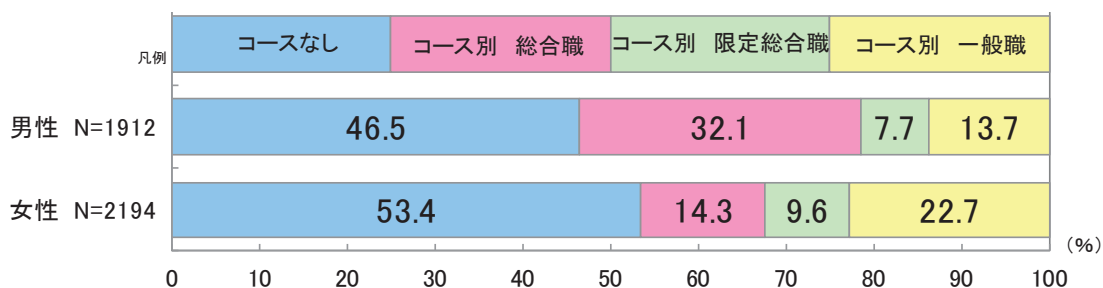
※2：準総合職、専門職など基幹的な業務や総合的な判断を行う業務に属し、転居を伴う転勤がない又は一定地域内や一定職種内でのみ異動がある

※3：「総合職」「限定総合職」と比して基幹的な業務や総合的な判断を行う業務が少ない

(10) コース別管理制度における各属性の特徴

対象者全体の状況を把握するため、コース別管理がない人とコース別管理でのコースをまとめた。男女とも「コースなし」の割合が最も高い。

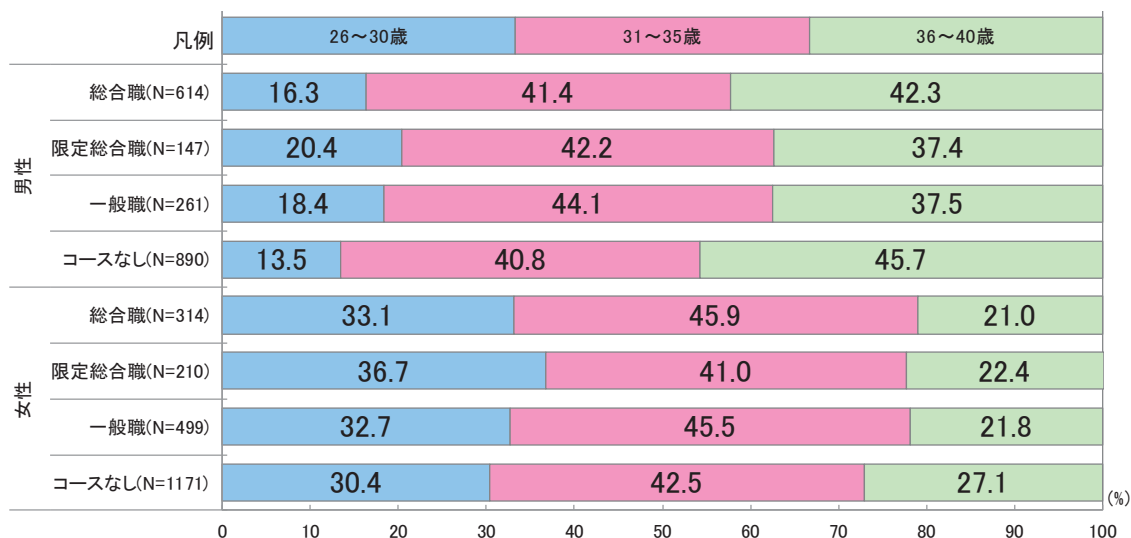
図表 属性 23 コース別



■コース別 年齢

女性では、「コースなし」で「36～40 歳」の割合がやや高い。

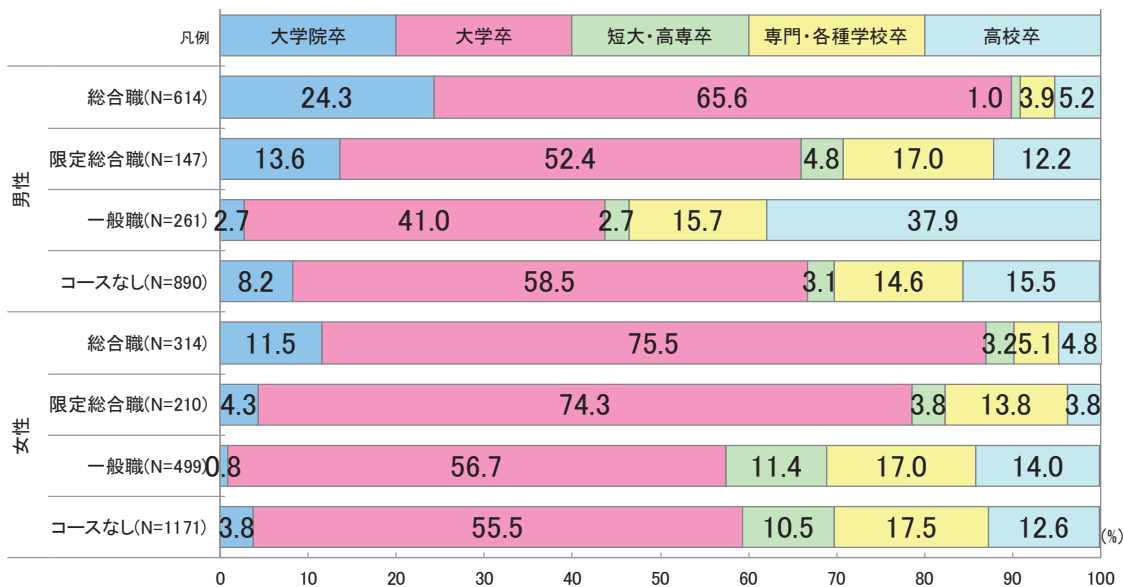
図表 属性 24 コース別 年齢



■コース別 学歴

女性では、「総合職」「限定総合職」における「大学卒」の割合が約 75%と非常に高い。

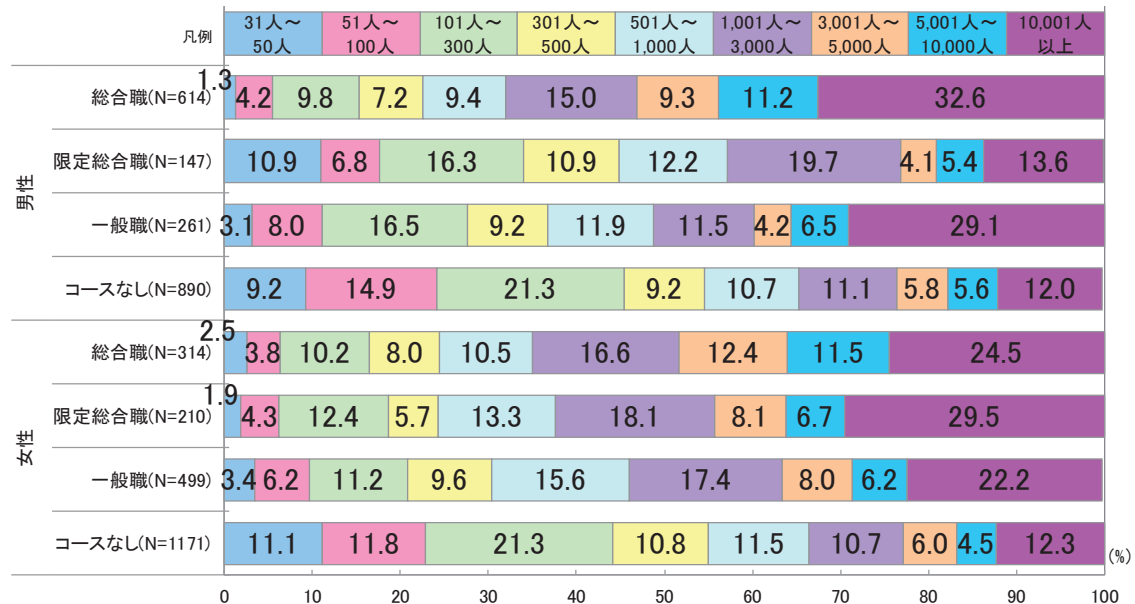
図表 属性 25 コース別 最終学歴



■コース別 勤務先の企業規模

男女とも「コース別なし」は、中小企業（300 人以下）の割合が高い。女性の「総合職」「限定総合職」「一般職」は「10,001 人以上」規模の割合が最も高い。

図表 属性 26 コース別 勤務先の企業規模



■コース別 業種

女性総合職は女性計と比較して「製造業」「金融業、保険業」「情報通信業」の割合が高い。また、「医療」「福祉」の割合が低い。

図表 属性 27 コース別 業種

(%)		N	採取業、 鉱業・採石業、 砂利	農業、 林業・漁業、	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産業、 物品賃貸業	学術研究、 専門・技術サービス業	宿泊業、 飲食サービス業	生活関連サービス業、 娯楽業	教育、 学習支援業	医療	福祉	同組合、 郵便局（協同組合）	複合サービス業（ 協同組合）	その他のサービス業	公務（他に分類されるものを除く）	その他
男性	男性計	1912	0.3	4.9	25.4	1.6	4.7	7.1	7.3	4.7	1.8	1.7	1.2	1.3	4.6	10.1	4.2	0.7	4.6	12.6	1.2		
	コース別 総合職	614	0.5	5.0	34.0	1.3	6.0	4.7	8.1	10.6	3.6	2.0	0.8	1.6	1.6	3.9	1.5	0.7	4.1	9.3	0.7		
	コース別 限定総合職	147	0.0	8.8	19.7	2.0	2.0	10.2	6.8	2.0	1.4	2.7	2.0	0.7	4.8	23.1	4.8	0.0	2.0	6.1	0.7		
	コース別 一般職	261	0.0	3.4	28.0	1.1	2.7	18.0	7.3	1.5	0.4	1.5	0.8	1.9	2.7	10.7	3.4	0.8	3.4	11.1	1.1		
	コースなし	890	0.2	4.6	19.6	1.9	4.7	5.1	6.9	1.9	1.0	1.5	1.5	1.0	7.2	12.1	6.3	0.8	5.7	16.4	1.7		
女性	女性計	2194	0.1	1.9	14.5	0.5	3.7	2.8	8.0	8.5	1.6	0.5	1.7	1.7	9.5	22.2	7.6	0.7	5.7	7.2	1.4		
	コース別 総合職	314	0.0	1.9	26.4	0.6	8.3	2.2	8.3	12.1	2.5	0.0	2.2	2.5	3.8	7.3	3.2	0.6	7.3	9.6	1.0		
	コース別 限定総合職	210	0.0	4.3	5.2	1.0	3.3	2.9	6.7	25.2	1.4	0.0	3.3	3.8	4.8	26.2	3.8	0.5	3.3	4.3	0.0		
	コース別 一般職	499	0.4	2.0	15.4	0.6	1.8	5.8	10.0	10.8	2.0	0.4	1.6	2.2	7.0	20.4	7.0	0.2	4.0	6.0	2.2		
	コースなし	1171	0.1	1.4	12.6	0.3	3.3	1.6	7.3	3.5	1.3	0.7	1.4	0.9	13.0	26.3	9.6	1.0	6.4	7.7	1.5		

■コース別 職種

女性総合職は女性全体と比較して「総務・人事・CSR・法務・経営企画」「営業」「設計・品質管理・生産技術・研究開発・デザイン等」の割合が高い。また「介護、保険医療、生活衛生サービス」「その他」の割合が低い。

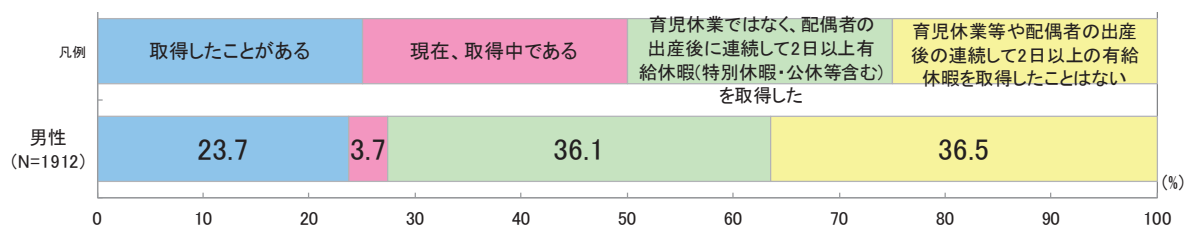
図表 属性 28 コース別 職種

	(%)	N	企画・総務・人事・法務・経営	経理・財務	調査・企画・広報・編集	営業	営業等の事務	販売・接客・サービス	情報システム	生産技術・品質管理・開発・生産	製造・生産現場の作業	建設・土木作業	輸送・運搬業務	介護・保健医療・生活衛生サービス	その他
男性計		1022	9.9	3.7	4.7	16.8	2.1	4.5	5.5	13.7	8.2	2.5	5.6	11.9	10.8
男性 コース別 総合職		614	14.7	4.4	6.2	25.2	2.3	3.7	6.5	22.0	2.3	1.0	2.1	3.3	6.4
男性 コース別 限定総合職		147	5.4	2.7	6.8	10.9	3.4	4.8	8.2	12.9	6.8	2.7	6.1	21.1	8.2
男性 コース別 一般職		261	5.7	1.1	1.5	11.9	0.0	5.4	5.4	6.1	20.7	3.4	15.3	12.3	11.1
男性 コースなし		890	8.5	4.2	4.2	13.4	2.4	4.7	4.5	10.3	8.9	3.3	5.2	16.3	14.3
女性計		1023	10.7	5.1	3.4	7.5	11.0	10.7	2.3	4.4	3.6	0.1	1.0	24.6	15.6
女性 コース別 総合職		314	17.5	7.0	9.2	16.9	7.6	10.5	4.8	9.9	1.3	0.0	0.3	9.2	5.7
女性 コース別 限定総合職		210	8.1	3.3	2.4	14.8	15.7	14.8	2.9	3.8	0.0	0.5	0.0	25.2	8.6
女性 コース別 一般職		499	9.6	4.4	1.4	5.4	19.6	12.4	1.0	3.4	5.8	0.0	2.4	22.6	11.8
女性 コースなし		1171	9.8	5.1	2.9	4.6	7.4	9.3	2.1	3.4	4.0	0.1	0.7	29.4	21.1

(11) 育児休業取得状況

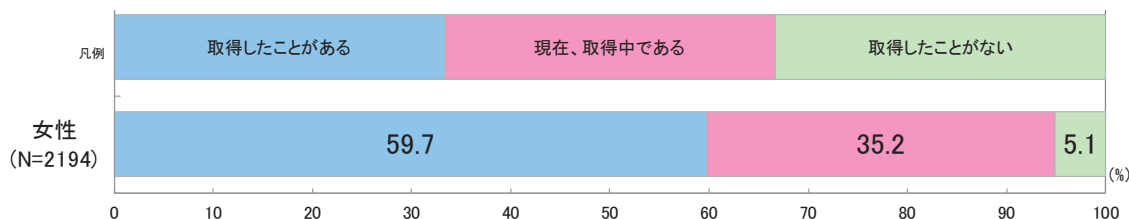
図表 属性 29 【男性】本人(男性)の育児休業取得状況

F2s1as2 これまでに育児休業を取得したことがありますか。



図表 属性 30 【女性】本人(女性)の育児休業取得状況

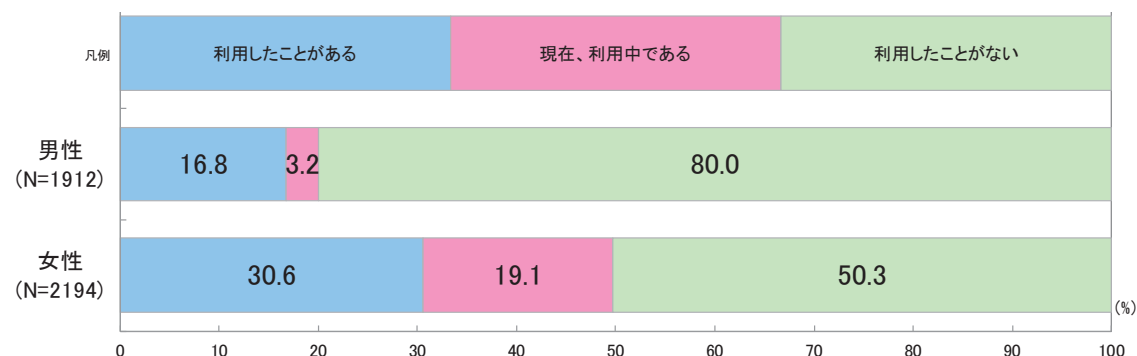
F2s1as1 これまでに育児休業を取得したことがありますか。



(12) 短時間勤務の利用経験

図表 属性 31 短時間勤務制度の利用経験

F1 これまでに短時間勤務制度を利用したことがありますか。

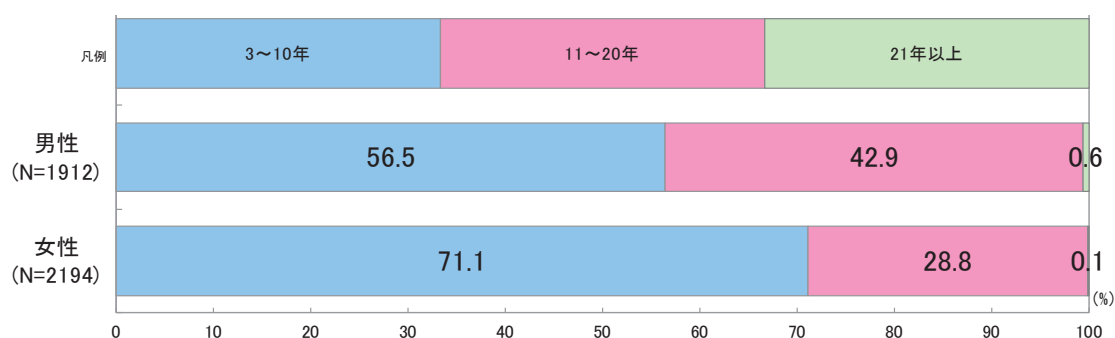


(13) 勤続年数

年齢の差もあることから、男性の方が勤続年数が長い。

図表 属性 32 勤続年数

S4 あなたは、現在のお勤めの会社・団体で、何年間働いていますか。(注) 育児休業等の期間も含めて回答してください。

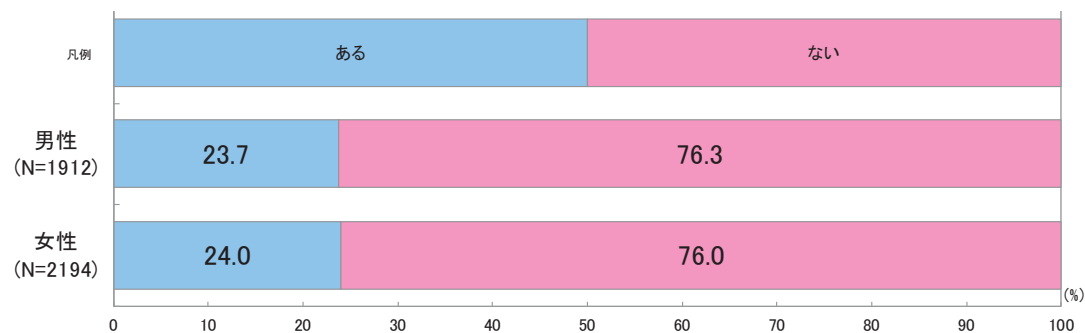


(14) 無職経験について

■ 無職経験の有無

図表 属性 33 無職経験の有無

F7s1 あなたは、学校卒業後から現在まで、無職の経験(育児などの休業期間は除く)がありましたか。

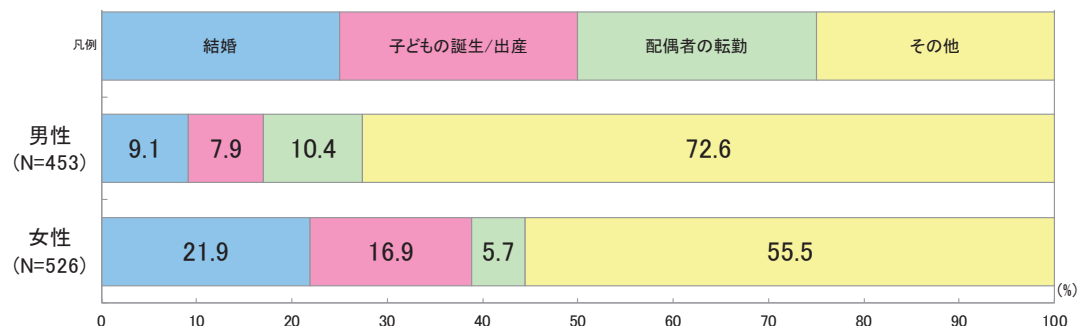


■無職になったきっかけ(無職期間が「ある」と回答した人)

「その他」以外の回答をした人は男性では約3割、女性では約半数となった。

図表 属性 34 無職になったきっかけ

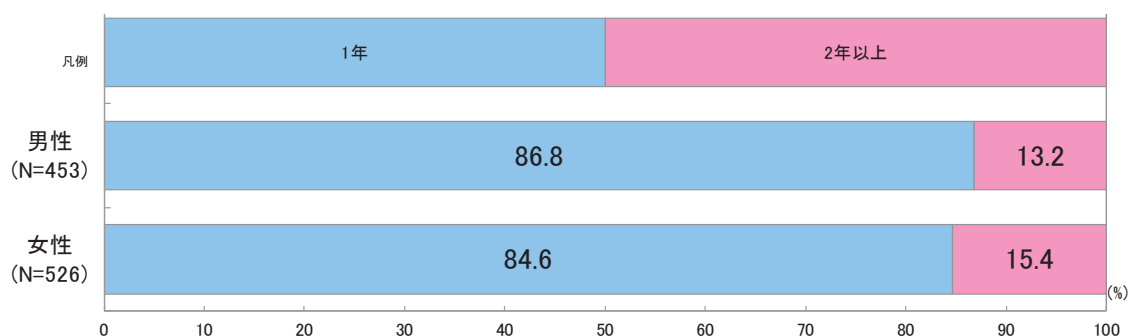
F7s2 無職になったきっかけは何ですか。



■無職期間(無職期間が「ある」と回答した人)

図表 属性 35 無職期間

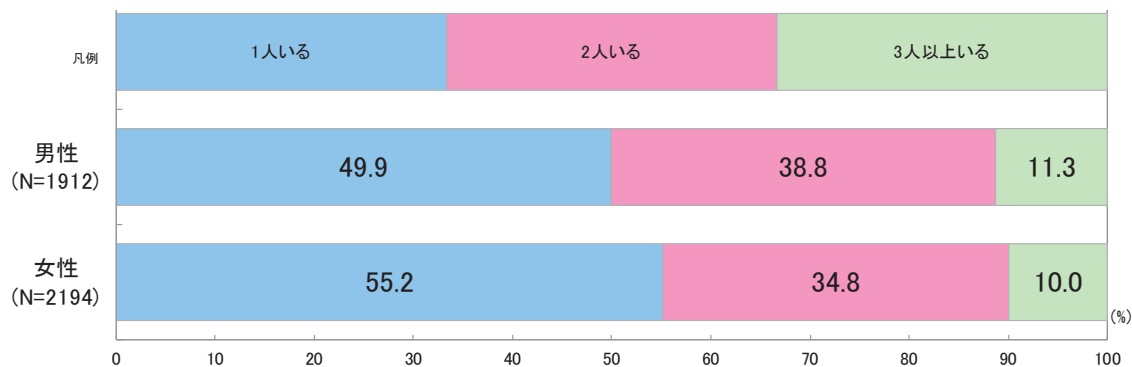
F7s3 無職期間は約何年間ですか。(注) 1年未満の方は1と書いてください。



(15) 子どもについて

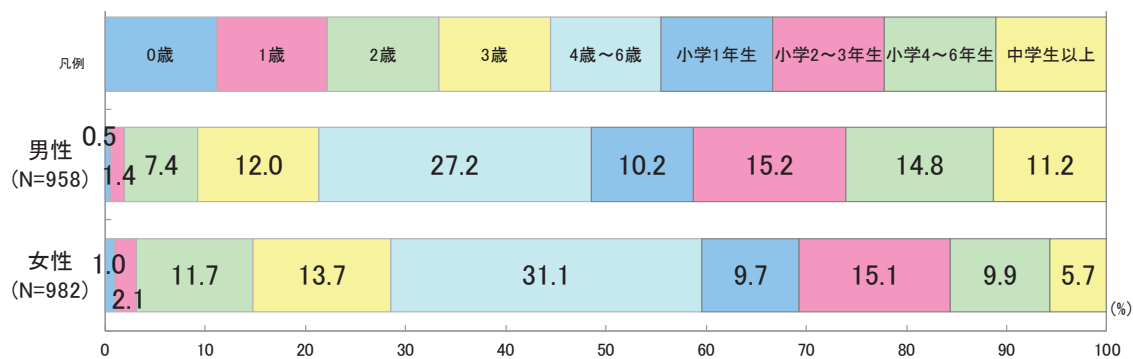
図表 属性 36 子どもの数

S8 現在、同居しているお子さんはいますか。



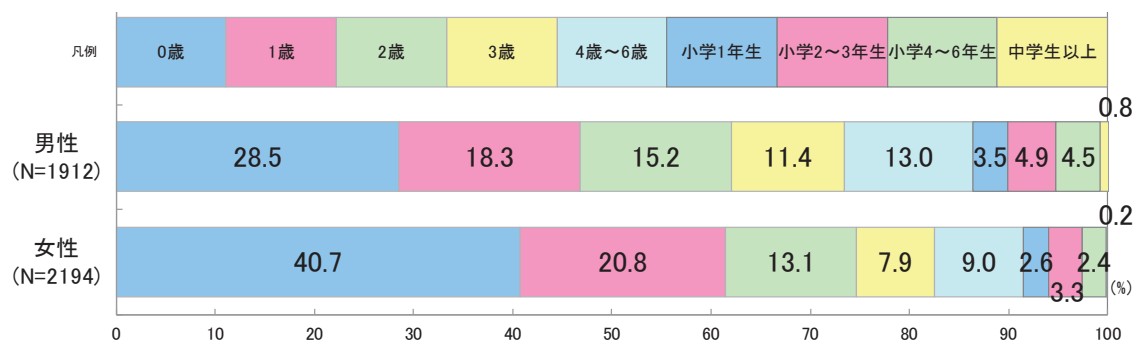
図表 属性 37 長子の年齢・学年

S9s1 同居しているお子さんの長子の年齢・学年を選んでください。(S8「子どもの数」で「1人いる」以外を選択した人)



図表 属性 38 末子の年齢・学年

S9s2 同居しているお子さんの年齢・学年を選んでください。(S8「子どもの数」で「1人いる」を選択した人)
同居しているお子さんの末子の年齢・学年を選んでください。(S8「子どもの数」で「1人いる」以外を選択した人)



(16) 居住地

図表 属性 39 居住地

R1 あなたのお住まいの場所をお聞きます。

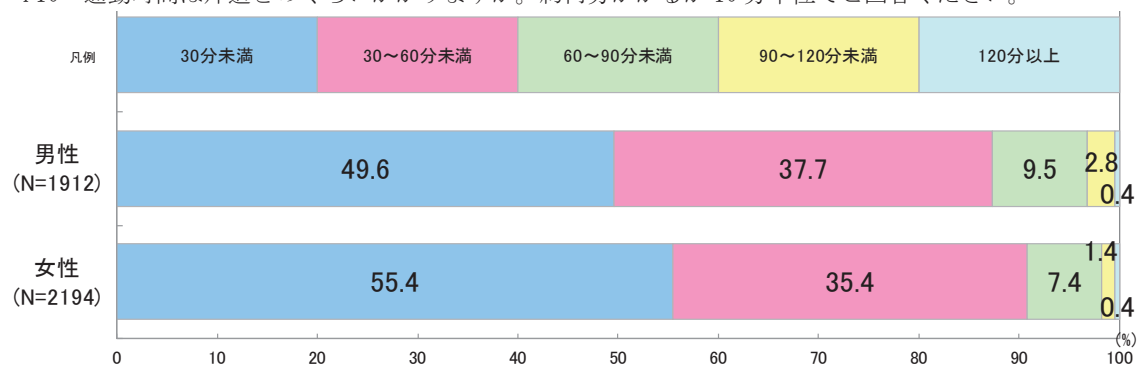
(%)	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
男性 N=1912	2.8	0.8	0.8	1.3	0.6	1.2	1.3	1.9	0.8	1.2	4.8
女性 N=2194	3.4	0.4	0.7	1.3	0.4	1.0	0.6	1.1	1.7	1.3	5.6
	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
男性 N=1912	4.9	13.9	6.2	1.4	1.0	0.9	0.3	0.3	1.4	1.3	3.0
女性 N=2194	4.4	13.7	7.1	1.5	1.1	1.3	0.8	0.8	1.4	1.7	2.5
	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県
男性 N=1912	8.8	1.5	1.4	2.4	9.1	4.6	1.4	0.8	0.4	0.4	1.8
女性 N=2194	8.7	1.5	1.9	1.8	6.4	5.7	1.3	0.5	0.5	0.9	1.4
	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県
男性 N=1912	2.5	1.2	0.7	0.8	0.7	0.2	4.2	0.3	0.6	0.9	0.5
女性 N=2194	1.9	0.8	0.4	1.2	0.8	0.5	5.1	0.5	0.8	0.9	0.7
	宮崎県	鹿児島県	沖縄県								
男性 N=1912	0.5	0.5	1.7								
女性 N=2194	0.4	0.8	1.2								

(17) 通勤時間(片道)

男女とも 30 分以内の人が約半数だった。

図表 属性 40 通勤時間

F10 通勤時間は片道どのくらいかかりますか。約何分かかるか 10 分単位でご回答ください。



付属資料 2

アンケート調査 調査票

調査票

【男性】

＜スクリーニング調査＞

- *配偶者、妻、夫には、事実婚のパートナーも、含まれます。
- *性別を問う質問がありますが、分析のためであり、多様性を否定するものではありません。

R1 あなたのお住まいの場所をお聞きます。

47 都道府県リストから一つを選択

R2 あなたの性別をお聞きます。

- 1. 男性
- 2. 女性

R3_1 あなたの年齢をお聞きます。

() 歳 →26～40 歳のミレニアル世代が対象

S1 あなたの最終学歴をお選びください。

- 1. 大学院卒 2. 大学卒 3. 短大・高専卒 4. 専門・各種学校卒 5. 高校卒 6. 中学卒
- 6は調査対象外

S2 あなたの就業形態は、どれに当たりますか。複数のお仕事をお持ちの場合は最も主要な仕事についてお答え下さい。

- 1. 正社員・正職員 2. パート、アルバイト、契約社員、嘱託 3. 派遣、請負
- 4. 事業を営んでいる 5. 家業を手伝っている 7. 学生
- 6. 家で仕事をしている (内職、フリーランスなど) 10. その他
- 8. 専業主婦・主夫 9. 無職
- 1 以外は調査対象外

S3 あなたが現在お勤めの会社・団体全体の従業員数 (パート・アルバイトを含む) をお知らせください。

- 1. 1 人～10 人 2. 11 人～30 人 3. 31 人～50 人 4. 51 人～100 人
- 5. 101 人～300 人 6. 301 人～500 人 7. 501 人～1,000 人 8. 1,001 人～3,000 人
- 9. 3,001 人～5,000 人 10. 5,001 人～10,000 人 11. 10,001 人以上
- 1, 2 は調査対象外

S4 あなたは、現在お勤めの会社・団体で、何年間働いていますか。(注) 育児休業等の期間も含めて回答してください。

約 () 年
→3 年未満は調査対象外

S5 現在、配偶者・パートナーはいらっしゃいますか。いらっしゃる方はその就業状況をお知らせください。

- 1. 配偶者はいない 2. 配偶者は正社員・正職員である 3. 配偶者は正社員・正職員ではない
- 4. 配偶者は働いていない
- 1, 3, 4 は調査対象外

S6 配偶者がお勤めの会社・団体全体の従業員数 (パート・アルバイトを含む) をお知らせください。

- 1. 1 人～30 人 2. 31 人～100 人 3. 101 人～300 人 4. 301 人～10,000 人 5. 10,001 人以上
- 1 は調査対象外

S7 配偶者の最終学歴をお選びください。

- 1. 大学院卒 2. 大学卒 3. 短大・高専卒 4. 専門・各種学校卒 5. 高校卒 6. 中学卒
- 6 は調査対象外

S8 現在、同居しているお子さんはいますか。

- 1. 同居している子どもはいない 2. 1 人いる 3. 2 人いる 4. 3 人以上いる
- 1 は調査対象外

S9s1 【子どもが2人以上の人のみ回答】同居しているお子さんの長子の年齢・学年を選んでください。

- 1. 0 歳 2. 1 歳 3. 2 歳 4. 3 歳 5. 4 歳～6 歳 6. 小学1年生
- 7. 小学2～3年生 8. 小学4～6年生 9. 中学生以上

S9s2 【子どもが1人】同居しているお子さんの年齢・学年を選んでください。

【子どもが2人以上】同居しているお子さんの末子の年齢・学年を選んでください。

- 1. 0 歳 2. 1 歳 3. 2 歳 4. 3 歳 5. 4 歳～6 歳 6. 小学1年生
- 7. 小学2～3年生 8. 小学4～6年生 9. 中学生以上

S11 あなたの配偶者の年齢をお聞きます。

() 歳 →26～40 歳のミレニアル世代が対象

＜本調査＞

あなたやあなたの会社・団体についてお伺いします。

F1 これまでに短時間勤務制度を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 現在、利用中である 3. 利用したことがない

F2s1as2 これまでに育児休業を取得したことがありますか。

1. 取得したことがある 2. 現在、取得中である
3. 育児休業ではなく、配偶者の出産後に連続して2日以上有給休暇(特別休暇・公休等含む)を取得した
4. 育児休業等や配偶者の出産後の連続して2日以上の有給休暇を取得したことはない

F2s1bs2 あなたの配偶者は、これまでに育児休業を取得したことがありますか。

1. 取得したことがある 2. 現在、取得中である 3. 取得したことがない

F2s2 【取得したことがある方にお伺いします】あなたは産後休業と育児休業をどのくらいの期間取得しましたか。2人以上、お子様がいらっしゃる方は通算でお書きください。

例) 10日間取得した場合は0, 0, 10とお書き下さい。(注)2回に分けて取得した場合は通算してお答えください。
() 年 () ケ月 () 日

【現在育休中の人】産後休業と育児休業をどのくらいの期間取得する予定ですか。

2人以上、お子様がいらっしゃる方は通算でお書きください。

例) 10日間取得した場合は0, 0, 10とお書き下さい。(注)2回に分けて取得した場合は通算してお答えください。
() 年 () ケ月 () 日

F3 あなたが現在お勤めの会社・団体の業種をお知らせください。

1. 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業 2. 建設業 3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業、郵便業
7. 卸売業、小売業 8. 金融業、保険業 9. 不動産業、物品賃貸業
10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊業、飲食サービス業
12. 生活関連サービス業、娯楽業 13. 教育、学習支援業
14. 医療 15. 福祉 16. 複合サービス業(協同組合、郵便局)
17. その他のサービス業 18. 公務(他に分類されるものを除く)
19. その他()

F4 あなたの現在の仕事の種類をお選びください。

1. 総務・人事・CSR・法務・経営企画 2. 経理・財務 3. 企画・広報・編集・調査
4. 営業 5. 営業等の事務 6. 販売・接客サービス・カスタマーサポート
7. 情報システム 8. 設計・品質管理・生産技術・研究開発・デザイン等
9. 製造・生産現場の作業 10. 建設・土木作業 11. 輸送・運転業務
12. 介護、保健医療、生活衛生サービス 13. その他()

F5s1 現在お勤めの会社・団体にはコース別雇用管理(総合職、一般職などの区分)、あるいはこれに類似した制度がありますか。

1. ある 2. ない

F5s2 【F5s1で「1. ある」と回答した人にお伺いします】現在、あなたのコースはどれですか。

1. 総合職(基幹的な業務や総合的な判断を行う業務に属し、勤務地の制限がない)
2. 限定総合職(準総合職、専門職など基幹的な業務や総合的な判断を行う業務に属し、転居を伴う転動がない又は一定地域内や一定職種内でのみ異動がある)
3. 一般職(「総合職」「限定総合職」として基幹的な業務や総合的な判断を行う業務が少ない)

F6 あなたの現在の職位は何ですか。

1. 部長以上及び部長相当職以上 2. 課長及び課長相当職
3. 係長・主任及び係長・主任相当職 4. 一般従業員

F7s1 あなたは、学校卒業後から現在まで、無職の経験(育児などの休業期間は除く)がありますか。

1. ある 2. ない

F7s2 【F7s1で「1. ある」と回答した人にお伺いします】無職になったきっかけは何ですか。

1. 結婚 2. 子どもの誕生 3. 配偶者の転勤 4. その他(具体的に書いて下さい)

F7s3 【無職の経験がある人にお伺いします】無職期間は約何年間ですか。(注)1年未満の方は1と書いてください。

約() 年

F8 通勤時間は片道どれくらいかかりますか。約何分かかかるか10分単位でご回答ください。
() 分

F9 あなたの個人の最近 1 年間のおおよその税込年収について、あてはまるもの 1 つをお選びください。

- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 200 万円未満 | 2. 200～300 万円未満 | 3. 300～400 万円未満 |
| 4. 400～500 万円未満 | 5. 500～600 万円未満 | 6. 600～700 万円未満 |
| 7. 700～800 万円未満 | 8. 800～900 万円未満 | 9. 900～1,000 万円未満 |
| 10. 1,000～1,100 万円未満 | 11. 1,100～1,200 万円未満 | 12. 1,200 万円以上 |
13. 答えたくない

F10 あなたの年収と配偶者の年収はどちらが高いですか。

- | | | |
|----------------|-----------------|----------|
| 1. 自分のほうがかなり高い | 2. 自分のほうがやや高い | 3. 同じくらい |
| 4. 配偶者のほうがやや高い | 5. 配偶者のほうがかなり高い | |

あなたが勤務している会社・団体や職場についてお伺いします。

Q1 あなたの会社・団体では、女性活躍推進の取組みが行われていますか。(※女性活躍推進の取組みとは、女性の採用数を増やしたり、女性の育成を促進したり、女性の職域を広げたりすることです。)

- | | | | |
|---------------|-----------|---------------|------------|
| 1. 積極的に行われている | 2. 行われている | 3. あまり行われていない | 4. 行われていない |
|---------------|-----------|---------------|------------|

Q2 あなたの職場（部署）では、女性が出産後育児をしながら働き続けられる雰囲気がありますか。

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかと言えばある | 3. どちらかと言えばない | 4. ない |
|-------|---------------|---------------|-------|

Q3 あなたの職場では、育児をしながら働く女性が、キャリアアップすることは可能だと思いますか。(※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることが指します)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |

Q4 あなたの職場では、男性社員が育児や介護等のために定時に帰れると思いますか。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. ほぼ毎日定時に帰ることができると思う | 2. 週に 2, 3 日は定時に帰ることができると思う |
| 3. 週に 1 日は定時に帰ることができると思う | 4. ほぼ定時に帰ることができないと思う |

Q5s1 あなたが勤務している会社・団体には、女性の管理職がどの程度いますか。

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 女性管理職が少ない | 2. 男性管理職よりは少ないが、女性管理職がいる |
| 3. 男性管理職と同程度いる | 4. 男性管理職よりも大勢いる |

Q5s2【Q5s1 で、「2. 男性管理職よりは少ないが、女性管理職がいる」「3. 男性管理職と同程度いる」「4. 男性管理職よりも大勢いる」と回答した人にお伺いします。】あなたの会社・団体には子育てをしている女性の管理職はいますか。

- | | | |
|------------------------|---------------|------------------------|
| 1. 身近に大勢いる | 2. 身近に少数いる | 3. 身近にはいないが会社・団体には大勢いる |
| 4. 身近にはいないが会社・団体には少数いる | 5. 会社・団体にはいない | 6. 知らない |

Q6 あなたが勤務している会社には、育児休業を取得したり、保育園の送迎をしたりしている男性はどの程度いますか。

- | | | |
|------------------------|---------------|------------------------|
| 1. 身近に大勢いる | 2. 身近に少数いる | 3. 身近にはいないが会社・団体には大勢いる |
| 4. 身近にはいないが会社・団体には少数いる | 5. 会社・団体にはいない | 6. 知らない |

Q7 あなたの会社・団体のキャリア形成支援施策についておたずねします。以下の施策がありますか。(Q7_1～Q7_7 それぞれについて、1～4 を選択)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 施策があり、受けたことがある | 2. 施策はあるが、受けたことがない |
| 3. 施策がない | 4. わからない |

Q7_1 a. キャリアデザイン研修（キャリアの節目で、中長期のキャリアを考える研修）

Q7_2 b. 上位職登用のための選抜研修

Q7_3 c. 資格取得や研修受講の費用援助

Q7_4 d. 上司との定期的なキャリア面談（今後のキャリアについて話し合う面談。業務の相談や考課面談とは異なるもの）

Q7_5 e. 育児休業からの早期復職を促進するための経済的支援（早期復職した場合のみベビースッター代の補助等）

Q7_6 f. 育児休業復帰者向けセミナー

Q7_7 g. 男性対象の育児支援（育児休業取得促進、セミナーなど）

【育児休業中の人以上】あなたの上司についてお伺いします。

【育児休業中の人】あなたの上司についてお伺いします。育児休業中のかたは、育児休業前について回答して下さい。

Q9【育児休業中の人以上】あなたの上司は、あなたが育児中だということを知っていますか

1. 知っている	2. 知らない	3. 知っているかどうかわからない
----------	---------	-------------------

Q10 あなたが仕事と育児を両立できるように、あなたの上司（管理職）に仕事の与え方について適切な配慮をして欲しいですか。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1. して欲しい | 2. して欲しいが、昇格・昇進等に影響があるなら配慮しなくていい |
| 3. して欲しくない | 4. 配慮はなくても、仕事と育児の両立ができる職場である |

Q11 【Q10で「1.して欲しい」を選択した方にお伺いします】あなたが仕事と育児を両立できるように、あなたの上司（管理職）は、仕事の与え方について適切な配慮をしていますか。

1. している 2. どちらかと言えばしている 3. どちらかと言えばしていない 4. していない

Q13 仕事と育児の両立の現状や希望について上司と話をしていますか。

1. よくしている 2. 時々している 3. あまりしてしていない 4. していない

Q14 あなたの上司について以下の質問にご回答ください。実態がわからない場合は、イメージでご回答下さい。

Q14_1 あなたの上司は、仕事がある日も育児をしている（していた）と思いますか。（注）上司に子どもがいない場合には、「5.上司には子どもがいない」を選んでください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない 5. 上司には子どもがいない

Q14_2 あなたの上司は、子どもがいる女性に対して、一律に責任の軽い仕事をさせたほうがいいと考えていると思いますか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

Q14_3 あなたの上司は、子供がいる男性に、躊躇なく、残業が必要な仕事や急な残業を命じていると思いますか

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

あなたの仕事の経験やキャリア意識についてお伺いします。

Q16 あなたは、以下のような、仕事上の能力が大きく伸びたり、自信を持った「一皮むける経験」をしたことがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 入社初期段階の異動 2. 部門を横断するような大きな異動
3. プロジェクトチームへの参画 4. 問題のある部門での大きな業務の改善や再構築
5. 昇進・昇格による権限の拡大 6. 新規事業・新市場・新分野のゼロからの立ち上げ
7. 海外勤務 8. その他（具体的に書いてください）
9. 一皮むける経験をしたことがない。

Q17 仕事の面白さを感じた経験はありますか。

1. ある 2. ない

Q18s1 あなたは、現在、資格を取得したり、社外の勉強会に参加したり、学校に通うなどの自己啓発をしていますか。

1. している 2. したいが、できていない 3. したくない/していない

Q18s2 【Q18s1で「2. したいができていない」を選択した方にお伺いします】あなたは、自己啓発をしたとお考えですが、できていない最も大きな理由をお知らせください。

1. 時間がないから 2. 子供を預けてまでできないから 3. 配偶者の理解を得られないから
4. その他（ ）

Q19 あなたは、人として、配偶者を対等な存在だと思っていますか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

これから「子どもが生まれる前」や「産後休業、育児休業からの復帰後」「第一子が生まれる時」に関する質問がございます。「子どもがいない時に、子どもがいる人と結婚した」という方は結婚した時点を「子どもができた時点」としてご回答ください。

Q19s2s2 未就学の子供の育児における夫・妻の役割について、子供が生まれる前、あなたはどのように考えていましたか。

1. 専ら夫が行うべき 2. 主に夫が行うが、妻も手伝うべき
3. 夫も妻も同じように行うべき 4. 主に妻が行うが、夫も手伝うべき
5. 専ら妻が行うべき

Q20s1 あなたは、子どもが生まれる前に、自分のキャリアと配偶者のキャリアについて、どのように考えていましたか。

1. お互いのキャリア形成を重視しようと考えていた
2. 自分のキャリア形成よりも、配偶者のキャリア形成を重視しようと考えていた
3. 配偶者のキャリア形成よりも、自分のキャリア形成を重視しようと考えていた
4. どちらのキャリア形成も重視していなかった/考えていなかった

Q20s2 【Q20s1で「2.自分のキャリア形成よりも、配偶者のキャリア形成を重視しようと考えていた」と回答した人にお伺いします】そのように考えていた理由は何ですか。当てはまるものすべてを選んでください。

1. 配偶者のほうが給料が高かったから 2. 配偶者のほうが昇格・昇進しやすいと思ったから
3. 配偶者のほうが職位が高かったから 4. 配偶者の会社・団体のほうが安定していたから
5. 配偶者の会社・団体のほうがワークライフバランスがとりやすかったから
6. 配偶者はキャリアアップの志向が強かったから
7. 配偶者のキャリア形成を重視すべきと思っていたから
8. 自分はキャリアよりも家事・育児を優先したいと思っていたから
9. 配偶者を立てるのが当然だと思っていたから
10. その他 具体的に書いてください ()

Q20s3 【Q20s1 で「3 配偶者のキャリア形成よりも、自分のキャリア形成を重視しようと考えていた」と回答した人にお伺いします】 そのように考えていた理由は何ですか。当てはまるものすべて選んでください。

1. 自分のほうが給料が高かったから 2. 自分のほうが昇格・昇進しやすいと思ったから
3. 自分のほうが職位が高かったから 4. 自分の会社・団体のほうが安定していたから
5. 自分の会社・団体のほうがワークライフバランスがとりやすかったから
6. 自分はキャリアアップの志向が強かったから
7. 自分のキャリア形成を重視すべきと思っていたから
8. 配偶者はキャリアよりも家事・育児を優先したいと思っていたから
9. 配偶者に勧められたから
10. その他 具体的に書いてください ()

Q21s2 あなたの配偶者(妻)は、子どもが生まれる前、夫(あなた)のキャリアと妻(配偶者)のキャリアについて、どのように考えていたと思いますか。次の中で、最も近い考え方を選んでください。

1. お互いのキャリア形成を重視しようと考えていた
2. 妻のキャリア形成よりも、夫(あなた)のキャリア形成を重視しようと考えていた
3. 夫(あなた)のキャリア形成よりも、妻のキャリア形成を重視しようと考えていた
4. どちらのキャリア形成も重視しない考えだった/考えていなかった
5. わからない

Q22s1 あなたと配偶者は、これまでに配偶者のキャリアについて話し合ったことがありますか。
1. よく話し合ってきた 2. 話し合ったことがある 3. 話し合ったことがない

Q22s2 【Q22s1 で「1. よく話し合ってきた」「2. 話し合ったことがある」と回答した人にお伺いします】 あなたと配偶者が配偶者のキャリアについて話し合ったことにより、配偶者の仕事への向き合い方が変わりましたか。

1. 配偶者はもっと仕事を頑張るようになった。 2. 特に変わらない
3. 配偶者は仕事をあまり頑張らなくなった。

Q22s3 【Q22s2 で「1. 配偶者はもっと仕事を頑張るようになった。」と回答した人にお伺いします】 配偶者がもっと仕事を頑張るようになったことで、家事・育児の負担を変えましたか。

1. 変えなかった 2. 自分の家事・育児の負担を増やした
3. 夫婦以外のサポート、外部サービスや便利家電等の利用で、配偶者の家事・育児の負担を減らした

Q23s1s2 【子どもが1人で、かつ現在育児休業中の人 以外】 配偶者の第一子産後休業・育児休業後の復帰から現在の間で、家事・育児の夫婦間での分担が変わったことがありますか。ある場合はどのように変わりましたか。複数回答変わった場合は一番大きな変化についてお答えください。

1. 自分の分担が増えた 2. 自分の分担が減った 3. 変わったことはない
4. 配偶者は産後休業・育児休業から復帰していない

Q23s2s2 【Q23s1s2 で「1. 自分の分担が増えた」「2. 自分の分担が減った」と回答した人にお伺いします。】 家事・育児の夫婦間での分担が変わったきっかけは何ですか。

1. 配偶者が自分に要望 2. 自分からの申し出
3. 職場が変わったり、職場の取組みが進みワークライフバランスが取りやすくなった
4. 職場が変わったり、仕事が忙しくなり、ワークライフバランスをとりにくくなった
5. その他 ()

働き方についてお伺いします。

Q24 以下の時期に、あなたと配偶者はどのような働き方をしていましたか。それぞれについてお答えください。

Q24_1 第一子が生まれる前のあなた

1. 毎日、常に、残業を 4、5 時間くらいしていた
2. 毎日、常に、残業を 2、3 時間くらいしていた
3. 毎日、常に、残業を 1 時間くらいしていた
4. 週に 1、2 日くらいは定時に業務を終えることがあった
5. ほぼ毎日、定時に業務を終えていた 6. 働いていなかった

Q24_2 第一子妊娠前の配偶者

1. 毎日、常に、残業を 4、5 時間くらいしていた
2. 毎日、常に、残業を 2、3 時間くらいしていた
3. 毎日、常に、残業を 1 時間くらいしていた
4. 週に 1、2 日くらいは定時に業務を終えることがあった
5. ほぼ毎日、定時に業務を終えていた
6. 働いていなかった

Q25 現在、あなたと配偶者はどのような働き方をしていますか。それぞれについてお答えください。

Q25_1 【育児休業中の人以外】あなた(注)短時間勤務の方は短時間で設定している定時について回答して下さい。

1. 毎日、常に、残業を 4、5 時間くらいしている
2. 毎日、常に、残業を 2、3 時間くらいしている
3. 毎日、常に、残業を 1 時間くらいしている
4. 週に 1、2 日くらいは定時に業務を終えることがある
5. ほぼ毎日、定時に業務を終えている

Q25_2 【配偶者が育児休業中の人以外】配偶者(注)短時間勤務の方は短時間で設定している定時について回答して下さい。

1. 毎日、常に、残業を 4、5 時間くらいしている
2. 毎日、常に、残業を 2、3 時間くらいしている
3. 毎日、常に、残業を 1 時間くらいしている
4. 週に 1、2 日くらいは定時に業務を終えている
5. ほぼ毎日、定時に業務を終えている

Q26 あなたは、自分で仕事の順番・やり方を決める裁量がありますか。

1. 裁量がある
2. まあ裁量がある
3. あまり裁量がない
4. 裁量がない

Q27 【育児休業中の人以外】【配偶者が育児休業の人以外】あなたは、残業や出張がある時に、育児の分担について配偶者と事前に調整をしていますか。

1. いつもしている
2. 時々している
3. とても重要な仕事の時だけしている
4. しない

家事・育児分担についてお伺いします。

Q28_1 【育休中の場合】現在の、配偶者の仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。
【上記以外】現在の、あなたと配偶者の仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。

- a. あなた（選択肢 1 はなし）

2. まったくしていない
3. 1 分以上 30 分未満
4. 30 分以上 1 時間未満
5. 1 時間以上 2 時間未満
6. 2 時間以上 3 時間未満
7. 3 時間以上

Q28_2 【配偶者が育休中の人】現在の、あなたの仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。

【上記以外】現在の、あなたと配偶者の仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。

b. 配偶者(注)配偶者が別居している場合には「1. 別居している（単身赴任など）」を選んでください。

1. 別居している（単身赴任など）
2. まったくしていない
3. 1 分以上 30 分未満
4. 30 分以上 1 時間未満
5. 1 時間以上 2 時間未満
6. 2 時間以上 3 時間未満
7. 3 時間以上

Q29s1 【Q28_1 に「1 分以上 30 分未満」「30 分以上 1 時間未満」「1 時間以上 2 時間未満」「2 時間以上 3 時間未満」「3 時間以上」と回答した人にお伺いします】

【子どもが 1 人で現在育休中の人】育児休業からの復帰後、仕事がある日に、家事育児をする理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

【上記以外の人】仕事がある日に、家事・育児をしている理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 当然のことだから
2. やらざるを得ないから
3. 配偶者から働きかけがあったため
4. 配偶者を応援したいため
5. ノー残業デーがあり、早く帰れる日があるため
6. 仕事と子育ての両立支援制度（育児休業、短時間勤務、子の看護休暇 等）の利用が促進されたため

7. フレックスタイム制度や在宅勤務制度等の柔軟に働ける環境が整備され、利用が促進されたため

8. 家事・育児を支援するためのセミナーや情報交換会等に参加したため

9. あなたの職場において、男性が家事・育児を行うことに対する理解があるため

10. 仕事に役に立つため

11. 子どもがかわいいから、子どもとの関係をよくしたいため

12. 家事や育児が好きだから

14. その他 自由にお書きください（ ）

Q29s2 【Q28_1 に「1 分以上 30 分未満」「30 分以上 1 時間未満」「1 時間以上 2 時間未満」「2 時間以上 3 時間未満」「3 時間以上」と回答した人にお伺いします】あなたは、仕事があ

る日において、家事・育児を行うため、どのような工夫をしていますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答) (注)特に工夫をしていない方は「9. 特に工夫はしていない」を選んでください。

1. 自分が育児中であることを、職場で積極的に伝えている
2. 配偶者に家事・育児を行うよう求められていることを、職場で積極的に伝えている
3. 曜日を決めて、その日だけは早く帰宅することを、職場で積極的に伝えている
4. 出社時間や退社時間を上司や同僚等と共有し、理解を得ている
5. 仕事を一人で抱え込まないようにしている
6. 残業をしない代わりに、朝早く出勤している (「朝残業」)
7. 残業をしないためにも、効率的に仕事を行ない、生産性を高めている
8. その他 具体的に書いてください
9. 特に工夫はしていない

Q29s3 【Q28_1に「1分以上30分未満」「30分以上1時間未満」「1時間以上2時間未満」「2時間以上3時間未満」「3時間以上」と回答した人にお伺いします】あなたは、家事・育児を行うことで、どのようなよかったことがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答) (注)よかったことがない方は「12. よかったことはなかった」を選んでください。

1. 効率的に仕事を行うようになった
2. 視野が広がり、これまでと違った発想ができるようになった
3. チーム内で積極的な情報共有を行うようになった
4. 仕事に対するモチベーションが向上した
5. 職場の同僚や部下の家庭環境等に充分配慮した対応を取りやすくなった
6. 配偶者のキャリア形成を支援できるようになった
7. 子どもとの関係が良い/良くなった
8. 配偶者との関係が良い/良くなった
9. 地域社会との交流が活発化した
10. 生活の満足度が高まった
11. その他 具体的に書いてください () 12. よかったことはなかった

Q29s4 【Q28_1に「1分以上30分未満」「30分以上1時間未満」「1時間以上2時間未満」「2時間以上3時間未満」「3時間以上」と回答した人にお伺いします】【育児休業中の人は除く】あなたは、家事・育児を行うことで、仕事上どのようなデメリットがあると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答) (注)デメリットがない方は、「10. デメリットはない」を選んでください。

1. 昇進・昇格が遅くなる
2. 重要な仕事を任せられなくなる
3. 仕事に集中できなくなる
4. 上司や同僚等との関係が上手くいなくなる

5. チーム内で積極的な情報共有ができなくなる
6. 顧客との関係構築が難しくなる
7. 職場内でのコミュニケーションの時間が確保できなくなる
8. 職場の人との飲み会等職場外でのコミュニケーションの時間が確保できなくなる
9. その他 具体的に書いてください () 10. デメリットはない

Q30 お子さんの保育園や幼稚園への『お迎え』(過去含む)の分担について、お伺いします。
1 週間の3者の合計が100%になるように、それぞれの割合をお答えください。分担割合が変わったことがある方は、一番最近の状況をお知らせください。(注1)あなただけが行っている(いた)場合は、100、0、0とお書きください。(注2)保育園や幼稚園に預けていない(いなかった)場合は、「預けていない(預けていなかった)」にチェックして下さい。

あなた () % 配偶者 () % あなたと配偶者以外 () %

Q31 1 週間のうち、家族全員が揃って夕食を食べる回数は何回くらいですか。
() 回 (最大7回)

Q32 あなたは、現在の配偶者との家事・育児の分担について、満足していますか。

1. 満足している
2. まあ満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

Q33 仕事がある日に、育児をしたいですか。(注) 育児休業中の方は、復帰後を想定してお答えください。

1. したい
2. したくない

Q34s1 【Q28_1で「1. まったくしていない」と回答し、「Q33で「1. したい」と回答した人にお伺いします】仕事がある日に、家事・育児をしたいが、していない理由として、職場での理由を回答してください。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答) * 職場での理由がない方は、「職場での理由はない」を選んでください。

1. 残業が多いため
2. 男性が育児を行うことに対する理解がない職場のため
3. 自分が育児中であることを職場に伝えていないため
4. 上司が、残業する人を評価するため
5. 仕事と子育ての両立支援制度 (育児休業、短時間勤務、子の看護休暇 等) が整備されていないため
6. フレックスタイム制度や在宅勤務制度等の柔軟に働ける環境が整備されていないため
7. その他 具体的に書いてください ()
8. 職場での理由はない

Q34s2【Q33で「2.したくない」と回答した人にお伺いします】仕事がある日に、育児分担任し
たくない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 仕事への支障がない形で家事・育児を行うことは困難だから
2. 職場の雰囲気になかなか許してくれそうにないから
3. 仕事に集中したいから
4. 残業手当が減ると、家計に支障が生じるから
5. 職場の上司、同僚等との関係を優先したいから
6. 趣味や友人との関係を優先したいから
7. あなたが家事・育児をすることを、配偶者が嫌がるから
8. あなたが家事・育児をすることを、親族等が嫌がるから
9. 男性が家事・育児に関わるものではないと考えているから
10. 家事・育児が嫌いだから
11. 家事・育児が得意だから
12. その他 具体的に書いてください（ ）

Q35 現在、在宅勤務をしていますか。あなたと配偶者について回答してください。

Q35_1【育児休業中の人以上】

a. あなた

1. ほとんど毎日
2. 週に2,3日
3. 週に1日
4. 月に数日
5. 月に1日くらい
6. 緊急時のみ
7. その他
8. 全くない

Q35_2【配偶者が育児休業中の人以上】

b. 配偶者

1. ほとんど毎日
2. 週に2,3日
3. 週に1日
4. 月に数日
5. 月に1日くらい
6. 緊急時のみ
7. その他
8. 全くない

Q36 現在、あなたと配偶者以外に家事・育児を担う人がいたり、外部のサービスを利用していま
すか。それぞれについて家事や育児をサポートしてもらっている頻度をお知らせしてくださ
い。（a～gそれぞれについて、1～7を選択）

1. ほとんど毎日
2. 週に2,3日
3. 週に1日
4. 月に数日
5. 月に1日くらい
6. 緊急時のみ
7. 全くいない/全く利用していない

a. 家族、友人等（無償のサポート）

b. ファミリーサポート

c. 民間のベビーシッター

d. 病児保育

e. 掃除の代行業

f. 料理の代行業

g. その他 具体的に書いてください（ ）

Q43 今後のキャリアについて、あなたのお気持ちに近い項目を1つ選んでください。

1. 部下のいる管理職になりたい、すでに管理職である場合には、上位の管理職になりたい
2. 部下のいない管理職になりたい
3. 専門性を高めたい
4. 仕事の幅を広げたい
5. 現状のままでいい
6. 考えていない

Q45 あなたは、順調に昇格・昇進できていますか。

1. 順調にできている
2. 少し遅れているができています
3. かなり遅れているができています
4. できていない

Q46 あなたは、あなたと配偶者がそれぞれキャリアアップできていると思いますか。（※キャ
リアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げ
ることを指します）

Q46_1 あなた

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

Q46_2 配偶者

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

Q47 あなたと配偶者はどのタイプをめざしていますか。（※キャリアアップとは昇格・昇進す
ることに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げを指します）

1. お互い、キャリアアップをめざしていく
2. 配偶者のキャリアを優先していく
3. あなたのキャリアを優先していく
4. キャリアを優先するほうを交代する
5. 二人とも、キャリアアップはめざさない

Q48 あなたはご自身の生活の次のような側面について、どのくらい満足を感じていますか。

Q48_1 夫婦の関係

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

Q48_2 経済的なゆとり

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

Q48 3 生活全体

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

Q49 仕事と育児を両立してきたことで、自分自身の人間的成長を実感していますか。(※人間
的成長とは、視座が上がる、多面的・大局的な視点を持つ、物事の本質を理解できるよ
うになるなどです。)

1. 実感している
2. どちらかと言えば実感している
3. どちらかと言えば実感していない
4. 実感していない

Q50 あなたは、仕事と育児の両立に強い不安、悩み、ストレスを感じることがありますか。

- 1.よくある 2.時々ある 3.あまりない 4.ない

Q51 夫婦二人が仕事で活躍することについてあなたのお書きください。

調査票

【女性】

＜スクリーニング調査＞

- *配偶者、妻、夫には、事実婚のパートナーも、含まれます。
- *性別を問う質問がありますが、分析のためであり、多様性を否定するものではありません。

R1 あなたのお住まいの場所をお聞きます。

47 都道府県リストから一つを選択

R2 あなたの性別をお聞きます。

- 1. 男性
- 2. 女性

R3_1 あなたの年齢をお聞きます。

() 歳 →26～40 歳のミレニアル世代が対象

S1 あなたの最終学歴をお選びください。

- 1. 大学院卒 2. 大学卒 3. 短大・高専卒 4. 専門・各種学校卒 5. 高校卒 6. 中学卒
- 6は調査対象外

S2 あなたの就業形態は、どれに当たりますか。複数のお仕事をお持ちの場合は最も主要な仕事についてお答え下さい。

- 1. 正社員・正職員 2. パート、アルバイト、契約社員、嘱託 3. 派遣、請負
- 4. 事業を営んでいる 5. 家業を手伝っている 7. 学生
- 6. 家で仕事をしている (内職、フリーランスなど) 10. その他
- 8. 専業主婦・主夫 9. 無職
- 1 以外は調査対象外

S3 あなたが現在お勤めの会社・団体全体の従業員数 (パート・アルバイトを含む) をお知らせください。

- 1. 1 人～10 人 2. 11 人～30 人 3. 31 人～50 人 4. 51 人～100 人
- 5. 101 人～300 人 6. 301 人～500 人 7. 501 人～1,000 人 8. 1,001 人～3,000 人
- 9. 3,001 人～5,000 人 10. 5,001 人～10,000 人 11. 10,001 人以上
- 1, 2 は調査対象外

S4 あなたは、現在お勤めの会社・団体で、何年間働いていますか。(注) 育児休業等の期間も含めて回答してください。

約 () 年
→3 年未満は調査対象外

S5 現在、配偶者・パートナーはいらっしゃいますか。いらっしゃる方はその就業状況をお知らせください。

- 1. 配偶者はいない 2. 配偶者は正社員・正職員である 3. 配偶者は正社員・正職員ではない
- 4. 配偶者は働いていない
- 1, 3, 4 は調査対象外

S6 配偶者がお勤めの会社・団体全体の従業員数 (パート・アルバイトを含む) をお知らせください。

- 1. 1 人～30 人 2. 31 人～100 人 3. 101 人～300 人 4. 301 人～10,000 人 5. 10,001 人以上
- 1 は調査対象外

S7 配偶者の最終学歴をお選びください。

- 1. 大学院卒 2. 大学卒 3. 短大・高専卒 4. 専門・各種学校卒 5. 高校卒 6. 中学卒
- 6 は調査対象外

S8 現在、同居しているお子さんはいますか。

- 1. 同居している子どもはいない 2. 1 人いる 3. 2 人いる 4. 3 人以上いる
- 1 は調査対象外

S9s1 【子どもが2人以上の人のみ回答】同居しているお子さんの長子の年齢・学年を選んでください。

- 1. 0 歳 2. 1 歳 3. 2 歳 4. 3 歳 5. 4 歳～6 歳 6. 小学1年生
- 7. 小学2～3年生 8. 小学4～6年生 9. 中学生以上

S9s2 【子どもが1人】同居しているお子さんの年齢・学年を選んでください。

【子どもが2人以上】同居しているお子さんの末子の年齢・学年を選んでください。

- 1. 0 歳 2. 1 歳 3. 2 歳 4. 3 歳 5. 4 歳～6 歳 6. 小学1年生
- 7. 小学2～3年生 8. 小学4～6年生 9. 中学生以上

S11_1 あなたの配偶者の年齢をお聞きます。

() 歳 →26～40 歳のミレニアル世代が対象

＜本調査＞

あなたやあなたの会社・団体についてお伺いします。

F1 これまでに短時間勤務制度を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 現在、利用中である 3. 利用したことがない

F2s1as1 これまでに育児休業を取得したことがありますか。

1. 取得したことがある 2. 現在、取得中である 3. 取得したことがない

F2s1bs1 あなたの配偶者は、これまでに育児休業を取得したことがありますか。

1. 取得したことがある 2. 現在、取得中である 3. 育児休業ではなく、あなたの出産後に連続して2日以上有給休暇(特別休暇・公休等含む)を取得した
4. 育児休業等やあなたの出産後の連続して2日以上の有給休暇を取得したことはない

F2s2 【育児休業を取得したことがある方にお伺いします】あなたは産後休業と育児休業をどのくらいの期間取得しましたか。2人以上、お子様がいらっしゃる方は通算でお書きください。例) 3ヶ月取得した場合は0、3とお書きください。

() 年 () ケ月

【現在育児中の人】産後休業と育児休業をどのくらいの期間取得する予定ですか。2人以上、お子様がいらっしゃる方は通算でお書きください。例) 3ヶ月取得した場合は0、3とお書きください。

() 年 () ケ月

F3 あなたが現在お勤めの会社・団体の業種をお知らせください。

1. 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業 2. 建設業 3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業、郵便業
7. 卸売業、小売業 8. 金融業、保険業 9. 不動産業、物品賃貸業
10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊業、飲食サービス業
12. 生活関連サービス業、娯楽業 13. 教育、学習支援業
14. 医療 15. 福祉 16. 複合サービス業 (協同組合、郵便局)
17. その他のサービス業 18. 公務 (他に分類されるものを除く)
19. その他 ()

F4 あなたの現在の仕事の種類をお選びください。

1. 総務・人事・CSR・法務・経営企画 2. 経理・財務 3. 企画・広報・編集・調査
4. 営業 5. 営業等の事務 6. 販売・接客サービス・カスタマーサポート
7. 情報システム 8. 設計・品質管理・生産技術・研究開発・デザイン等
9. 製造・生産現場の作業 10. 建設・土木作業 11. 輸送・運転業務
12. 介護、保健医療、生活衛生サービス 13. その他 ()

F5s1 現在お勤めの会社・団体にはコース別雇用管理 (総合職、一般職などの区分)、あるいは

これに類似した制度がありますか。

1. ある 2. ない

F5s2 【F5s1 で「1. ある」と回答した人にお伺いします】現在、あなたのコースはどれですか。

1. 総合職 (基幹的な業務や総合的な判断を行う業務に属し、勤務地の制限がない)
2. 限定総合職 (準総合職、専門職など基幹的な業務や総合的な判断を行う業務に属し、転居を伴う転動がない又は一定地域内や一定職種内でのみ異動がある)

3. 一般職 (「総合職」「限定総合職」と比べて基幹的な業務や総合的な判断を行う業務が少ない)

F6 あなたの現在の職位は何ですか。

1. 部長以上及び部長相当職以上 2. 課長及び課長相当職
3. 係長・主任及び係長・主任相当職 4. 一般従業員

F7s1 あなたは、学校卒業後から現在まで、無職の経験 (育児などの休業期間は除く) がありますか。

1. ある 2. ない

F7s2 【F7s1 で「1. ある」と回答した人にお伺いします】無職になったきっかけは何ですか。

1. 結婚 2. 出産 3. 配偶者の転勤 4. その他 (具体的に書いて下さい)

F7s3 【無職の経験がある人にお伺いします】無職期間は約何年間ですか。(注) 1 年未満の方は1と書いてください。

約 () 年

F8 通勤時間は片道どれくらいかかりますか。約何分かかるか 10 分単位でご回答ください。
() 分

F9 あなたの個人の最近 1 年間のおおよその税込年収について、あてはまるもの 1 つをお選びください。

- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 200 万円未満 | 2. 200～300 万円未満 | 3. 300～400 万円未満 |
| 4. 400～500 万円未満 | 5. 500～600 万円未満 | 6. 600～700 万円未満 |
| 7. 700～800 万円未満 | 8. 800～900 万円未満 | 9. 900～1,000 万円未満 |
| 10. 1,000～1,100 万円未満 | 11. 1,100～1,200 万円未満 | 12. 1,200 万円以上 |
13. 答えたくない

F10 あなたの年収と配偶者の年収はどちらが高いですか。

- | | | |
|----------------|-----------------|----------|
| 1. 自分のほうがかなり高い | 2. 自分のほうがやや高い | 3. 同じくらい |
| 4. 配偶者のほうがやや高い | 5. 配偶者のほうがかなり高い | |

あなたが勤務している会社・団体や職場についてお伺いします。

Q1 あなたの会社・団体では、女性活躍推進の取組みが行われていますか。(※女性活躍推進の取組みとは、女性の採用数を増やしたり、女性の育成を促進したり、女性の職域を広げたりすることです。)

- | | | | |
|---------------|-----------|---------------|------------|
| 1. 積極的に行われている | 2. 行われている | 3. あまり行われていない | 4. 行われていない |
|---------------|-----------|---------------|------------|

Q2 あなたの職場（部署）では、女性が出産後育児をしながら働き続けられる雰囲気がありますか。

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかと言えばある | 3. どちらかと言えばない | 4. ない |
|-------|---------------|---------------|-------|

Q3 あなたの職場では、育児をしながら働く女性が、キャリアアップすることは可能だと思いますか。(※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることが指します)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えば思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |

Q4 あなたの職場では、男性社員が育児や介護等のために定時に帰れると思いますか。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. ほぼ毎日定時に帰ることができると思う | 2. 週に 2, 3 日は定時に帰ることができると思う |
| 3. 週に 1 日は定時に帰ることができると思う | 4. ほぼ定時に帰ることができなと思う |

Q5s1 あなたが勤務している会社・団体には、女性の管理職がどの程度いますか。

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 女性管理職が少ない | 2. 男性管理職よりは少ないが、女性管理職がいる |
| 3. 男性管理職と同程度いる | 4. 男性管理職よりも大勢いる |

Q5s2【Q5s1 で、「2. 男性管理職よりは少ないが、女性管理職がいる」「3. 男性管理職と同程度いる」「4. 男性管理職よりも大勢いる」と回答した人にお伺いします。】あなたの会社・団体には子育てをしている女性の管理職はいますか。

- | | | |
|------------------------|---------------|------------------------|
| 1. 身近に大勢いる | 2. 身近に少数いる | 3. 身近にはいないが会社・団体には大勢いる |
| 4. 身近にはいないが会社・団体には少数いる | 5. 会社・団体にはいない | 6. 知らない |

Q7 あなたの会社・団体のキャリア形成支援施策についておたずねします。以下の施策がありますか。(Q7_1～Q7_7 それぞれについて、1～4 を選択)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 施策があり、受けたことがある | 2. 施策はあるが、受けたことがない |
| 3. 施策がない | 4. わからない |

Q7_1 a. キャリアデザイン研修（キャリアの節目で、中長期のキャリアを考える研修）

Q7_2 b. 上位職登用のための選抜研修

Q7_3 c. 資格取得や研修受講の費用援助

Q7_4 d. 上司との定期的なキャリア面談（今後のキャリアについて話し合う面談。業務の相談や考課面談とは異なるもの）

Q7_5 e. 育児休業からの早期復職を促進するための経済的支援（早期復職した場合のみベビースッター代の補助等）

Q7_6 f. 育児休業復帰者向けセミナー

Q7_7 g. 男性対象の育児支援（育児休業取得促進、セミナーなど）※女性には 1 選択不可設定

【育児休業中の人以上】あなたの上司についてお伺いします。

【育児休業中の人】あなたの上司についてお伺いします。育児休業中のかたは、育児休業前について回答して下さい。

Q8 あなたの上司は、日々の業務の中であなたに少し高い目標や経験値より少し困難な仕事を与えてチャレンジさせていると思いますか？

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えば思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |

Q12 あなたは上司に活躍を期待されていますか。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 期待を言葉で伝えられている | 2. 期待を言葉では伝えられていないが、態度や雰囲気を感じる |
| 3. 期待を言葉でも伝えられていないし、態度や雰囲気でも感じない | 4. 期待されていないと感じる |

Q13 仕事と育児の両立の現状や希望について上司と話をしていますか。

1. よくしている 2. 時々している 3. あまりしていない 4. していない

Q14 あなたの上司について以下の質問にご回答ください。実態がわからない場合は、イメージでご回答下さい。

Q14_1 あなたの上司は、仕事がある日も育児をしている（していた）と思いますか。（注）上司に子どもがいない場合には、「5. 上司には子どもがいない」を選んでください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない 5. 上司には子どもがいない

Q14_2 あなたの上司は、子どもがいる女性に対して、一律に責任の軽い仕事をさせたほうがいいと思いますか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

Q14_3 あなたの上司は、子供がいる男性に、躊躇なく、残業が必要な仕事や急な残業を命じていると思いますか

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

あなたの仕事の経験やキャリア意識についてお伺いします。

Q15 あなたのこれまでの仕事内容は、同期の男性や同じ等級の男性と比べて、責任の重さはどうなのですか。

1. 男性よりも責任の重い仕事をする事が多かった
2. 同様に責任の重い仕事をしていた
3. ほぼ同様に責任の重い仕事をしていたが、責任の軽い仕事もしていた
4. 責任の重い仕事はわずかであり、責任の軽い仕事が多かった
5. 責任の軽い仕事だけしていた
6. 職場に、同期の男性や同じ等級の男性がいない

Q16 あなたは、以下のような、仕事上の能力が大きく伸びたり、自信を持った「一皮むける経験」をしたことがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 入社初期段階の異動
2. 部門を横断するよう大きな異動
3. プロジェクトチームへの参画
4. 問題のある部門での大きな業務の改善や再構築
5. 昇進・昇格による権限の拡大
6. 新規事業・新市場・新分野のゼロからの立ち上げ

7. 海外勤務 8. その他（具体的に書いてください）

9. 一皮むける経験をしたことがない。

Q17 仕事の面白さを感じた経験はありますか。

1. ある 2. ない

Q18s1 あなたは、現在、資格を取得したり、社外の勉強会に参加したり、学校に通うなどの自己啓発をしていますか。

1. している 2. したいが、できていない 3. したくない/していない

Q18s2 【Q18s1 で「2. したいができていない」を選択した方にお伺いします】あなたは、自己啓発をしたいとお考えですが、できていない最も大きな理由をお知らせください。

1. 時間がないから 2. 子供を預けてまでできないから 3. 配偶者の理解を得られないから
4. その他（ ）

Q19 あなたの配偶者は、人として、あなたを対等な存在だと思っていますか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない

これから「子どもが生まれる前」や「産後休業、育児休業後から復帰後」「第一子出産後」に関する質問がございます。「子どもがいない時に、子どもがいる人と結婚した」という方は結婚した時点「第一子出産時点」としてご回答ください。

Q19s2s1 未就学の子供の育児における夫・妻の役割について、子供が生まれる前、あなたはどのように考えていましたか。

1. 専ら妻が行うべき 2. 主に妻が行うが、夫も手伝うべき 3. 妻も夫も同じように行うべき
4. 主に夫が行うが、妻も手伝うべき 5. 専ら夫が行うべき

Q20s1 あなたは、子どもが生まれる前に、自分のキャリアと配偶者のキャリアについて、どのように考えていましたか。

1. お互いのキャリア形成を重視しようと考えていた
2. 自分のキャリア形成よりも、配偶者のキャリア形成を重視しようと考えていた
3. 配偶者のキャリア形成よりも、自分のキャリア形成を重視しようと考えていた
4. どちらのキャリア形成も重視していなかった/考えていなかった

Q20s2【Q20s1で「2.自分のキャリア形成よりも、配偶者のキャリア形成を重視しようと考えていた」と回答した人にお伺いします】そのように考えていた理由は何か。当てはまるものすべてを選んでください。

1. 配偶者のほうが給料が高かったから
2. 配偶者のほうが昇格・昇進しやすいと思ったから
3. 配偶者のほうが職位が高かったから
4. 配偶者の会社・団体のほうが安定していたから
5. 配偶者の会社・団体のほうがワークライフバランスがとりやすかったから
6. 配偶者はキャリアアップの志向が強かったから
7. 配偶者のキャリア形成を重視すべきと思っていたから
8. 自分はキャリアよりも家事・育児を優先したいと思っていたから
9. 配偶者を立てるのが当然だと思っていたから
10. その他 具体的に書いてください（ ）

Q20s3【Q20s1で「3 配偶者のキャリア形成よりも、自分のキャリア形成を重視しようと考えていた」と回答した人にお伺いします】そのように考えていた理由は何か。当てはまるものすべてを選んでください。

1. 自分のほうが給料が高かったから
2. 自分のほうが昇格・昇進しやすいと思ったから
3. 自分のほうが職位が高かったから
4. 自分の会社・団体のほうが安定していたから
5. 自分の会社・団体のほうがワークライフバランスがとりやすかったから
6. 自分はキャリアアップの志向が強かったから
7. 自分のキャリア形成を重視すべきと思っていたから
8. 配偶者はキャリアよりも家事・育児を優先したいと思っていたから
9. 配偶者に勧められたから
10. その他 具体的に書いてください（ ）

Q21s1 あなたの配偶者（夫）は、子どもが生まれる前、妻（あなた）のキャリアと夫（配偶者）のキャリアについて、どのように考えていたと思いますか。次の中で、最も近い考え方を選んでください。

1. お互いのキャリア形成を重視しようと考えていた。
2. 夫のキャリア形成よりも、妻（あなた）のキャリア形成を重視しようと考えていた
3. 妻（あなた）のキャリア形成よりも、夫のキャリア形成を重視しようと考えていた
4. どちらのキャリア形成も重視しない考えだった/考えていなかった
5. わからない

Q22s1 あなたと配偶者は、これまでにあなたのキャリアについて話し合ったことがありますか。
1. よく話し合ってきた 2. 話し合ったことがある 3. 話し合ったことがない

Q22s2【Q22s1で「1.よく話し合ってきた」「2.話し合ったことがある」と回答した人にお伺いします】あなたと配偶者があなたのキャリアについて話し合ったことにより、あなたの仕事のへの向き合い方が変わりましたか。

1. 自分はずっと仕事を頑張ろうと思った 2. 特に変わらない
3. 自分は仕事をあまり頑張らなくてもいいと思った

Q22s3【Q22s2で「1.自分はずっと仕事を頑張ろうと思った」と回答した人にお伺いします】あなたがもっと仕事を頑張ろうと思ったことによって、家事・育児の負担を変えましたか。

1. 変えなかった 2. 配偶者の家事・育児の負担を増やした
3. 夫婦以外のサポート、外部サービスや便利家電等の利用で、自分の家事・育児の負担を減らした

Q23s1s1【子どもが1人で、かつ現在育児休業中の人 以外】第一子の産後休業・育児休業後の復帰から現在の間で、家事・育児の夫婦間での分担が変わったことがありますか。ある場合はどのように変わりましたか。複数回変わった場合は一番大きな変化についてお答えください。（注）第一子出産時に仕事をしていなかった方は、再就職してから現在のことについてご回答ください。

1. 配偶者の分担が増えた 2. 配偶者の分担が減った
3. 変わったことはない 4. 産後休業・育児休業から復帰していない

Q23s2s1【Q23s1s1で「1.配偶者の分担が増えた」「2.配偶者の分担が減った」と回答した人にお伺いします。】家事・育児の夫婦間での分担が変わったきっかけは何か。

1. 自分が配偶者に要望 2. 配偶者からの申し出
3. 配偶者の職場が変わったり、職場の取組みが進みワークライフバランスが取りやすくなった
4. 配偶者の職場が変わったり、仕事が忙しくなり、ワークライフバランスをとりになくなった
5. その他（ ）

働き方についてお伺いします。

Q24 以下の時期に、あなたと配偶者はどのような働き方をしていましたか。それぞれについてお答えください。

- Q24_1 第一子妊娠前のあなた
1. 毎日、常に、残業を4、5時間くらいしていた
 2. 毎日、常に、残業を2、3時間くらいしていた
 3. 毎日、常に、残業を1時間くらいしていた
 4. 週に1、2日くらいは定時に業務を終えることがあった

5. ほぼ毎日、定時に業務を終えていた

6. 働いていなかった

Q24_2 第一子が生まれる前の配偶者

1. 毎日、常に、残業を4、5時間くらいしていた

2. 毎日、常に、残業を2、3時間くらいしていた

3. 毎日、常に、残業を1時間くらいしていた

4. 週に1、2日くらいは定時に業務を終えることがあった

5. ほぼ毎日、定時に業務を終えていた

6. 働いていなかった

Q25 現在、あなたと配偶者はどのような働き方をしていますか。それぞれについてお答えください。

Q25_1【育児休業中の人以外】あなた(注)短時間勤務の方は短時間で設定している定時について回答して下さい。

1. 毎日、常に、残業を4、5時間くらいしている

2. 毎日、常に、残業を2、3時間くらいしている

3. 毎日、常に、残業を1時間くらいしている

4. 週に1、2日くらいは定時に業務を終えることがある

5. ほぼ毎日、定時に業務を終えている

Q25_2【配偶者が育児休業中の人以外】配偶者(注)短時間勤務の方は短時間で設定している定時について回答して下さい。

1. 毎日、常に、残業を4、5時間くらいしている

2. 毎日、常に、残業を2、3時間くらいしている

3. 毎日、常に、残業を1時間くらいしている

4. 週に1、2日くらいは定時に業務を終えている

5. ほぼ毎日、定時に業務を終えている

Q26 あなたは、自分で仕事の順番・やり方を決める裁量がありますか。

1. 裁量がある

2. まあ裁量がある

3. あまり裁量がない

4. 裁量がない

Q27【育児休業中の人以外】【配偶者が育児休業の人以外】あなたは、残業や出張がある時に、

育児の分担について配偶者と事前に調整をしていますか。

1. いつもしている

2. 時々している

3. とても重要な仕事の時だけしている

4. しない

家事・育児分担についてお伺いします。

Q28_1【夫婦ともに育休中の場合】現在のあなたと配偶者の1日の家事育児時間はどのくらいですか。

【上記以外】現在のあなたと配偶者の仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。

a. あなた（選択肢1はなし）

2. まったくしていない

3. 1分以上30分未満

4. 30分以上1時間未満

5. 1時間以上2時間未満

6. 2時間以上3時間未満

7. 3時間以上

Q28_2【配偶者が育休中の人】現在の、あなたの仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。

【上記以外】現在の、あなたと配偶者の仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。

b. 配偶者(注)配偶者が別居している場合には「1. 別居している（単身赴任など）」を選んでください。

1. 別居している（単身赴任など）

2. まったくしていない

3. 1分以上30分未満

4. 30分以上1時間未満

5. 1時間以上2時間未満

6. 2時間以上3時間未満

7. 3時間以上

Q29s2【Q28_1に「1分以上30分未満」「30分以上1時間未満」「1時間以上2時間未満」「2時間以上3時間未満」「3時間以上」と回答した人にお伺いします】【育児休業中の人は除く】

あなたは、仕事がある日において、家事・育児を行うため、どのような工夫をしていますか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）（注）特に工夫をしていない方は「9. 特に工夫はしていない」を選んでください。

1. 自分が育児中であることを、職場で積極的に伝えている

2. 配偶者に家事・育児を行うよう求められていることを、職場で積極的に伝えている

3. 曜日を決めて、その日だけは早く帰宅することを、職場で積極的に伝えている

4. 出社時間や退社時間を上司や同僚等と共有し、理解を得ている

5. 仕事を一人で抱え込まないようにしている

6. 残業をしない代わりに、朝早く出勤している（「朝残業」）

7. 残業をしないためにも、効率的に仕事を行ない、生産性を高めている

8. その他 具体的に書いてください

9. 特に工夫はしていない

Q29s4【Q28_1に「1分以上30分未満」「30分以上1時間未満」「1時間以上2時間未満」「2時間以上3時間未満」「3時間以上」と回答した人にお伺いします】【育児休業中の人は除く】

あなたは、家事・育児を行うことで、仕事上、どのようなデメリットがあると思いますか。

当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）（注）デメリットがない方は、「10. デメリットはない」を選んでください。

1. 昇進・昇格が遅くなる

2. 重要な仕事を任せられなくなる

3. 仕事に集中できなくなる
4. 上司や同僚等との関係が上手くいかなくなる
5. チーム内で積極的な情報共有ができなくなる
6. 顧客との関係構築が難しくなる
7. 職場内でのコミュニケーションの時間が確保できなくなる
8. 職場の人との飲み会等職場外でのコミュニケーションの時間が確保できなくなる
9. その他 具体的に書いてください () 10. デメリットはない

Q30 お子さんの保育園や幼稚園への『お迎え』(過去含む)の分担について、お伺いします。

1 週間の 3 者の合計が 100%になるように、それぞれの割合をお答えください。(注 1) あなただけが行
が変わったことがある方は、一番最近の状況をお知らせください。(注 2) 保育園や幼稚園に預けてい
る (いた) 場合は、100、0、0 とお書きください。(注 2) 保育園や幼稚園に預けてい
ない (いなかった) 場合は、「預けていない (預けていなかった)」にチェックして下さい。

あなた () % 配偶者 () % あなたと配偶者以外 () %

Q31 1 週間のうち、家族全員が揃って夕食を食べる回数は何回くらいですか。

() 回 (最大 7 回)

Q32 あなたは、現在の配偶者との家事・育児の分担について、満足していますか。

1. 満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

Q35 現在、在宅勤務をしていますか。

Q35_1【育児休業中の人以外】

a. あなた

1. ほとんど毎日 2. 週に 2、3 日 3. 週に 1 日 4. 月に数日

5. 月に 1 日くらい 6. 緊急時のみ 7. その他 8. 全くない

Q35_2【配偶者が育児休業中の人以外】

b. 配偶者

1. ほとんど毎日 2. 週に 2、3 日 3. 週に 1 日 4. 月に数日

5. 月に 1 日くらい 6. 緊急時のみ 7. その他 8. 全くない

Q36 現在、あなたと配偶者以外に家事・育児を担う人がいたり、外部のサービスを利用してい
ますか。それぞれについて家事や育児をサポートしてもらっている頻度をお知らせくださ
い。(a～g それぞれについて、1～7 を選択)

1. ほとんど毎日 2. 週に 2、3 日 3. 週に 1 日 4. 月に数日

5. 月に 1 日くらい 6. 緊急時のみ 7. 全くない/全く利用していない
- a. 家族、友人等 (無償のサポート)
- b. ファミリーサポート
- c. 民間のベビーシッター
- d. 病児保育
- e. 掃除の代行業
- f. 料理の代行業
- g. その他 具体的に書いてください ()

Q37【子ども 1 人の場合には、子どもが 3 歳以上の人のみ回答】第一子出産後復帰した時の仕事
や今後のキャリアについて、あなたの状況に近い項目を選んでください。(注) 第一子出産
時に仕事をしていた方々は「第一子出産後に復帰していない」を選んでください。

1. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もなかった

2. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もなかった

3. 難易度や責任の度合いが高すぎて、荷が重かった

4. 第一子出産後に復帰していない

Q38【子ども 1 人の場合には、子どもが 3 歳以上の人のみ回答】第一子出産後復帰した時の仕事
についての納得感を尋ねます。あなたのお気持ちに近い項目を選んでください。

1. 納得していた

2. どちらかと言えば納得していた

3. どちらかと言えば納得していなかった

4. 納得していなかった

Q39【Q37 で 2. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もなかった」と回答し、Q38 で
「3. どちらかと言えば納得していなかった」「4. 納得していなかった」と回答した人にお伺
いします】何に納得していなかったか、当てはまるものをすべて選んでください。(複数
回答)

1. 仕事の内容が限定されていた

2. やりたい仕事ではなかった

3. 自分の能力よりも難易度の低い仕事だった

4. 同期の男性よりも難易度の低い仕事だった

5. 自分の希望よりも責任の軽い仕事だった

6. 同期の男性よりも責任の軽い仕事だった

7. キャリアの展望がなかった

8. その他 具体的に書いてください。()

Q40【育児休業中の人以外】現在の仕事や今後のキャリアについて、あなたの状況に近い項目を
選んでください。

1. 難易度や責任の度合いが妊娠・出産前とあまり変わらず、キャリアの展望もある

2. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もない
3. 難易度や責任の度合いが高すぎて、荷が重い

Q41【育児休業中の人以外】現在の仕事の納得感をお尋ねします。あなたのお気持ちに近い項目を選んでください。

1. 納得している
2. どちらかと言えば納得している
3. どちらかと言えば納得していない
4. 納得していない

Q42s1【Q40で「2. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もない」と回答し、Q41で「3. どちらかと言えば納得していない」「4. 納得していない」と回答した人にお伺いします】何に納得していないか、当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 仕事の内容が限定されている
2. やりたい仕事ではない
3. 自分の能力よりも難易度の低い仕事である
4. 同期の男性よりも難易度の低い仕事である
5. 自分の希望よりも責任の軽い仕事である
6. 同期の男性よりも責任の軽い仕事である
7. キャリアの展望がない
8. その他 具体的に書いてください。（ ）

Q42s2【Q37で「2. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もなかった」と回答し、Q40で「1. 難易度や責任の度合いが少しづつ高まり、キャリアの展望もある」と回答した人にお伺いします】難易度・責任の度合いが少しづつ高まり、キャリア展望もあるようになった理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 上司に要望を伝えた
2. 上司からの働きかけがあった
3. 時短をやめて、フルタイムで働くようにした
4. 定時退社だけでなく、必要な時には残業するようになった
5. 異動、社内公募、転職など、働く場を変えた
6. 自己啓発した
7. 夫に働きかけて、夫の家事・育児分担を増やした
8. 外部サービスにより自分の家事・育児の負担を減らした
9. 親族・知人のサポートを増やすことにより家事・育児の負担を減らした
10. その他 具体的に書いてください。（ ）

Q42s3【Q37で「3. 仕事の難易度や責任の度合いが高すぎて、荷が重かった」と回答し、Q40で「1. 難易度や責任の度合いが少しづつ高まり、キャリアの展望もある」と回答した人にお伺いします】仕事の難易度や責任の度合いが高すぎて荷が重かったのが、キャリアの展望もあるようになった理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1. 上司に要望を伝えた
2. 上司からの働きかけがあった

3. 時短をやめて、フルタイムで働くようにした
4. 定時退社だけでなく、必要な時には残業するようになった
5. 異動、社内公募、転職など、働く場を変えた
6. 自己啓発した
7. 夫に働きかけて、夫の家事・育児分担を増やした
8. 外部サービスにより自分の家事・育児の負担を減らした
9. 親族・知人のサポートを増やすことにより家事・育児の負担を減らした
10. その他 具体的に書いてください。（ ）

Q43 今後のキャリアについて、あなたのお気持ちに近い項目を1つ選んでください。

1. 部下のいる管理職になりたい、すでに管理職である場合には、上位の管理職になりたい
2. 部下のいない管理職になりたい
3. 専門性を高めたい
4. 仕事の幅を広げたい
5. 現状のままでいい
6. 考えていない

Q44【Q40で「2. 難易度や責任の度合いが低く、キャリアの展望もない」と回答し、Q43で「1. 部下のいる管理職になりたい、すでに管理職である場合には、上位の管理職になりたい」「2. 部下のいない管理職になりたい」「3. 専門性を高めたい」「4. 仕事の幅を広げたい」と回答した人にお伺いします】どのようなにして、今後のキャリアの希望をかなえますか。

1. 上司に要望を伝える
2. 上司からの働きかけを期待する
3. 時短をやめて、フルタイムで働くようにする
4. 定時退社だけでなく、必要な時には残業するようになる
5. 異動、社内公募、転職など、働く場を変える
6. 自己啓発する
7. 夫に働きかけて、夫の家事・育児分担を増やす
8. 外部サービスにより自分の家事・育児の負担を減らす
9. 親族・知人のサポートを増やすことにより家事・育児の負担を減らす
10. その他 具体的に書いてください。（ ）

Q45 あなたは、順調に昇格・昇進できていますか。

1. 順調にできている
2. 少し遅れているができています
3. かなり遅れているができています
4. できていない

Q46 あなたは、あなたと配偶者がそれぞれキャリアアップできていると思いますか。（※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることを指します）

- Q46_1 あなた
1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う

3. どちらかと言えばそう思わない

4. そう思わない

Q46_2 配偶者

1. そう思う

2. どちらかと言えばそう思う

3. どちらかと言えばそう思わない

4. そう思わない

Q47 あなたと配偶者はどのタイプをめざしていますか。(※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることが指します)

1. お互い、キャリアアップをめざしていく

2. 配偶者のキャリアを優先していく

3. あなたのキャリアを優先していく

4. キャリアを優先するほうを交代する

5. 二人とも、キャリアアップはめざさない

Q48 あなたはご自身の生活の次のような側面について、どのくらい満足を感じていますか。

Q48_1 夫婦の関係

1. 満足している

2. どちらかと言えば満足している

3. どちらかと言えば満足していない

4. 満足していない

Q48_2 経済的なゆとり

1. 満足している

2. どちらかと言えば満足している

3. どちらかと言えば満足していない

4. 満足していない

Q48_3 生活全体

1. 満足している

2. どちらかと言えば満足している

3. どちらかと言えば満足していない

4. 満足していない

Q49 仕事と育児を両立してきたことで、自分自身の人間的成長を実感していますか。(※人間的成長とは、視座が上がる、多面的・大局的な視点を持つ、物事の本質を理解できるようになるなどです。)

1. 実感している

2. どちらかと言えば実感している

3. どちらかと言えば実感していない

4. 実感していない

Q50 あなたは、仕事と育児の両立に強い不安、悩み、ストレスを感じることがありますか。

1. よくある

2. 時々ある

3. あまりない

4. ない

Q51 夫婦二人が仕事で活躍することについてあなたの考えを自由にお書きください。

～ともにキャリアを形成するために～
子どものいるミレニアル世代夫婦の
キャリア意識に関する調査研究

2022 年 2 月発行

発行所：公益財団法人 21 世紀職業財団

住 所：〒113-0033 東京都文京区本郷 1 丁目 33 番 13 号春日町ビル 3 階

URL : <https://www.jiwe.or.jp/>